令和３年度第２回神奈川県公私立高等学校協議会　次第

令和３年８月６日(金) 10 時 00 分～
神奈川県私学会館　４階　講堂

１　議題

・令和４年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について

２　その他

配付資料

資料１　神奈川県公私立高等学校協議会委員名簿
資料２　神奈川県公私立高等学校協議会　座席表
資料３　令和３年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について(令和２年９月２日)
資料４　令和３年度入学者選抜実績
資料４－２　県内中学校卒業者の進学率
資料４－３　公立中学校卒業者等の進学率について
資料４－４　高校進学率全国比較表
資料５　公立中学生志願動向調査等結果（令和３年度）
資料６　私立高等学校における学費補助の状況
資料６－２　神奈川県高等学校奨学金の状況
資料６－３　私立高等学校における更なる特色・魅力づくりへの県の支援
資料７　不登校生徒の現状
資料７－２　長期の欠席を理由とする選抜方法申請書を提出した受検者の状況について
資料７－３　私立高等学校における不登校生徒の受入れ体制整備に対する支援について（平成 19 年度～）
資料８　令和３年度クリエイティブスクール入学者対象アンケート調査結果
資料９　中学校卒業者の動向
資料９－２　地域別公立中学校卒業予定者数
参考資料　令和４年度神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜の日程
神奈川県内公私立高等学校入学者選抜期日等に関する申し合わせ事項等

資料１

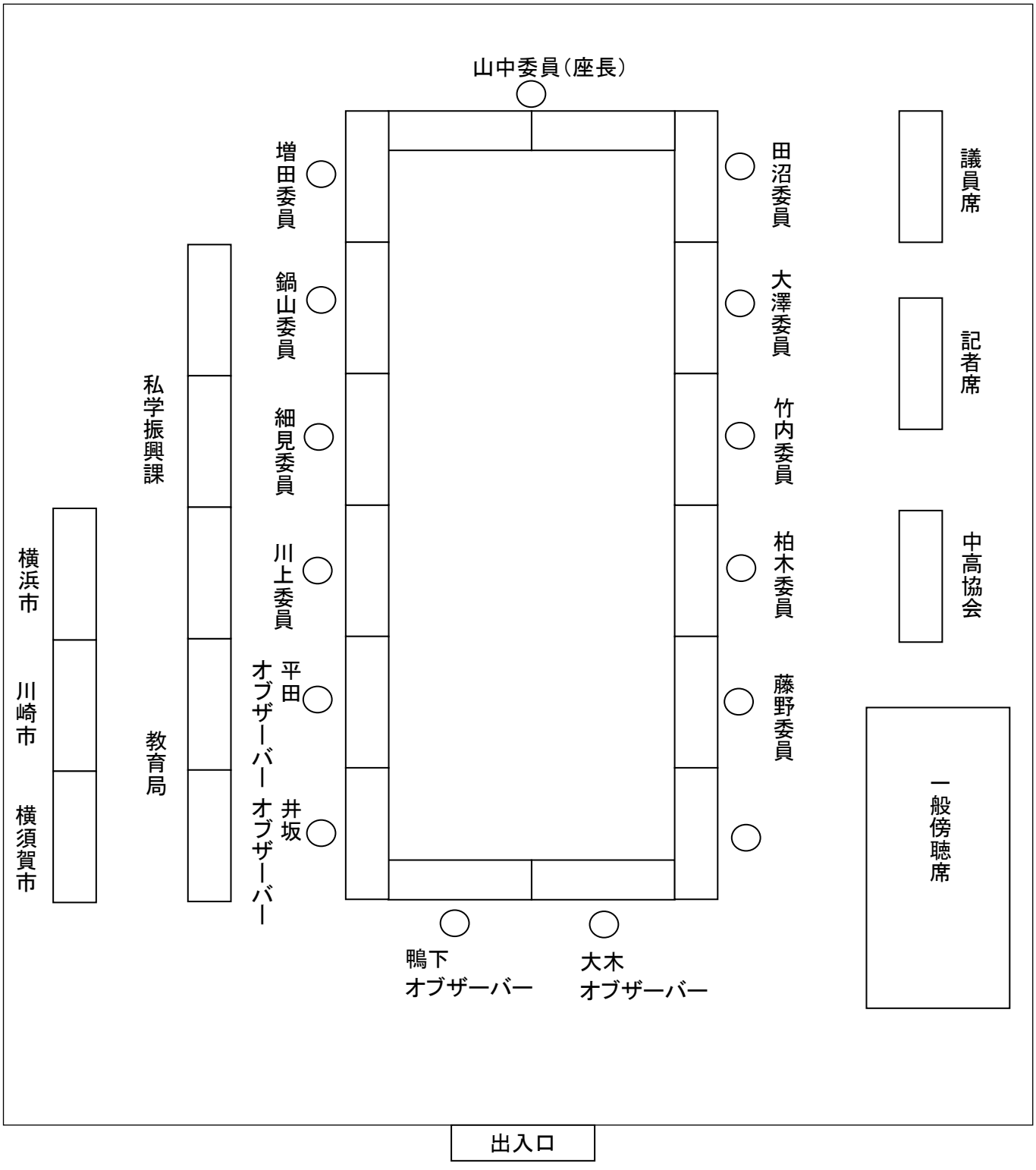
神奈川県公私立高等学校協議会委員名簿

氏　　名	役 職 等	備　　考
田沼（たぬま）　光明（みつあき）	神奈川県私立中学高等学校協会 副理事長	(学)横浜学園理事長・ 横浜学園高等学校校長
川名（かわな）　稔（みのる）	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	横須賀学院中学校・高等学校校長
大澤（おおさわ）　一仁（かずひと）	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	(学)平塚学園理事長・ 平塚学園高等学校校長
竹内（たけうち）　博之（ひろゆき）	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	鎌倉学園中学校・高等学校校長
柏木（かしわぎ）　照正（てるまさ）	神奈川県私立中学高等学校協会 理事	(学)柏木学園高等学校理事長
藤野（ふじの）　利夫（としお）	神奈川県私立中学高等学校協会 監事	(学)横須賀学院監事
鍋山（なべやま）　英彦（ひでひこ）	横浜市教育委員会事務局 学校教育企画部高校教育課長	
細見（ほそみ）　勝典（かつのり）	川崎市教育委員会事務局 学校教育部指導課長	
川上（かわかみ）　誠（まこと）	横須賀市教育委員会事務局 学校教育部教育指導課長	
山中（やまなか）　毅（たけし）	神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部私学振興課長	
増田（ますだ）　年克（としかつ）	神奈川県教育委員会教育局 指導部参事兼高校教育課長	
平田（ひらた）　渉（わたる）	神奈川県公立中学校長会の代表	オブザーバー
井坂（いさか）　秀一（しゅういち）	神奈川県立高等学校長の代表	オブザーバー
鴨下（かもした）　博厚（ひろあつ）	神奈川県私学保護者会連合会の代表	オブザーバー
大木（おおき）　健一（けんいち）	神奈川県PTA協議会の代表	オブザーバー

資料２

神奈川県公私立高等学校協議会　座席表

令和３年８月６日(金)　10:00～
私学会館　４階　講堂



※当日の状況により座席表に変更が生じる可能性があります。

資料３

令和３年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について

（令和２年９月２日）

令和３年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定については、平成 17 年９月 13 日以降、毎年度開催（※）の公私立高等学校設置者会議で合意した「高等学校生徒入学定員計画の策定について」を踏まえ、引き続き公私協調の精神に基づき、以下のとおりとする。

なお、特に令和３年度入学者選抜にあたっては、中学校における学習状況を踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じ、安心して受検（受験）に臨めるよう努め、新型コロナウイルス感染状況によっては、入学者選抜の日程を含めた見直しを検討する。

※　これまでの開催日：平成 18 年９月 11 日、平成 19 年９月 11 日、平成 20 年９月 12 日、平成 21 年９月 11 日、平成 22 年９月 10 日、平成 23 年９月７日、平成 24 年９月 10 日、平成 25 年９月９日、平成 26 年９月８日、平成 27 年９月７日、平成 28 年９月６日、平成 29 年９月７日、平成 30 年９月４日及び令和元年９月４日

１　基本的な考え方

（１）視　点

ア　公私が協調することにより、

①生徒の視点に立った定員計画を策定すること

・ 生徒の夢や希望の実現のために、幅広く主体的な学校選択が可能となるよう定員計画を策定していく。

②全日制高校への進学実績を向上させるよう努めること

・ 経済的な課題、学力的な課題等を抱えた生徒や不登校生徒等の受け入れ対策を講じ、進学実績の向上を目指していく。

・ そのために必要な抜本的な対策を検討していく。

③生徒一人ひとりの希望と適性に応じた進路を確保することを目標とした定員計画とすること

・ 定時制や通信制も含め、生徒一人ひとりの希望と適性に応じた進路を確保することを目指す。

イ　生徒が幅広く高校を選択する条件の一つとして、公私間格差の是正を図る方向で検討

（２）考え方

・　公私が協調しつつ、「（１）視点」記載の各事項を具体化することを目標として、総合的に対応する。

（３）その他

・　全日制高校進学率の向上を図るため、更に公私で全体として進学率が向上するよう工夫する。そのための基本的な考え方として、「定員協議における公私の役割」を次のとおり確認する。

・「公立」の役割：　生徒一人ひとりの希望と適性に応じて、多様な選択ができるよう、幅広い進路先としての役割を担い、県民ニーズに応える。

・「私学」の役割：　建学の精神に基づく特色ある教育を展開し、学則で定められた収容定員を踏まえた安定的な学校運営に努め、県民ニーズに応える。

・　なお、県は、私学の自主性を尊重しつつ、助成などにより私立学校教育のより一層の振興に努めるとともに、公教育を担う公私立高校が公私協調を図り、それぞれの役割を果たしながら共に向上できるよう、設置者間の協議の場を運営する。

・　本合意事項の遂行に著しく困難な状況が生じた場合には、公私協調の精神に基づき、協議により解決を図る。

２　定員計画の策定

（１）令和３年度の定員計画の方式

・　平成22年度から３年間は、公立中学校卒業予定者の６割を全日制公立高校の入学定員としてきたが、平成25年度定員計画策定時に、それまでの公私立間の定員協議の経緯を勘案し、公私各々が自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する方式に改め、平成26年から令和２年度も同様の方式により策定してきた。

・　令和３年度の定員計画は、これまでの経緯を勘案し、かつ、これまでの定員計画により全日制進学率が向上してきた成果を踏まえ、引き続き、公私各々が自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する方式により策定する。

・　なお、公私の募集計画については、この定員計画に見合ったものとし、10月までには公表する。

（２）実現を目指す定員目標設定の考え方

・　全日制進学率の向上を推進するため、公私各々が自らの責任として実現を

目指す定員目標を明確にした上で、その実現に最大限の努力をするものとする。

・　入学定員目標を設定するにあたり、これまでの実績や施設規模、教員規模等を勘案する。

・　公立の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向に対応できるよう定員枠を確保し、全日制進学率の向上に寄与するものとする。

・　私学の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向及び私学への進学希望の実現に対応できるよう定員枠を確保し、全日制進学率の向上に寄与するものとする。

（３）その他

・　全日制高校への進学希望率を念頭に、全日制高校への進学実績の向上に一層努力する。

・　全日制公立高校定員計画の策定にあたって、県・三市教育委員会は公私が協調して全日制の進学率を向上させることを念頭に私立高校の配置状況等を充分に考慮する。

・　私立中高協会は広報・相談活動の強化等引き続き生徒確保対策に全力を傾けるものとする。

・　なお、公立中学校卒業予定者は、年による若干の増はあるものの、長期的な減少期に入っていることから、定員計画の策定にあたっては柔軟かつ安定的な枠組みを示すものとする。

３　今後の総合的な対応

「１基本的な考え方　（１）視点」記載の各事項を具体化することを目標として、これまでも総合的に対応してきたが、今後も引き続き推進する。

（１）経済的な課題を抱えた生徒の受け入れ対策

・　高等学校等就学支援金制度及び私立高等学校等生徒学費補助制度の一体的運用の充実に向けたより一層の努力

・　神奈川県高等学校奨学金に係る所要予算額の継続的な確保

・　就学支援金、学費補助金及び神奈川県高等学校奨学金による経済的負担の軽減措置の周知はこれまで様々な機会を捉え行い、一定の認知は得られているものの、引き続き、県、県・三市教育委員会、私立高校、私立中高協会による中学校生徒、保護者及び教員への学費支援制度のなお一層の周知徹底

・　私学への進学促進を図るため、私立高校と私立中高協会の一体的取組みにより、奨学金等の受取り時期まで入学時納付金の支払いを延納する措置の拡充に努める。

（２）不登校生徒等の受け入れ対策

- 公立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策の一層の推進
- 私立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策の一層の推進

（３）クリエイティブスクール

県教育委員会は定時制入学者の中に全日制高校を希望していた生徒が多数含まれていることに加えて、私立高校併願者がごく少数であることから、これらの生徒を全日制公立高校で受け入れていく仕組みを工夫してきた。

その方策の一つが、「学習意欲を高める全日制課程の新たな学校のしくみづくり」（クリエイティブスクール）である。クリエイティブスクールにおいては選考基準が重要なポイントである。従って、平成21年度に本格的に導入したクリエイティブスクールについては、志願者及び入学者の動向や実態を踏まえ、設置の目的に沿った学校となっているかを検証し引き続き公私で協議する。

（４）定時制等の受け入れ対策

定時制高校の学校規模の適正化、特に経済的な理由により全日制高校への進学がかなわず定時制に進学せざるを得ない生徒への対応を引き続き図る。

（５）その他の対策

- 私立高等学校における更なる特色・魅力づくりの推進
- 県・三市教育委員会、私立中高協会による県内高校への更なる進学促進
- 高等学校等就学支援金制度、私立高等学校等生徒学費補助制度、神奈川県高等学校奨学金制度の運用見直し及びクリエイティブスクールの設置目的については、公立中学校における実際の進路指導等に活用できるよう特に周知徹底
- その他、「１（１）視点」記載の各事項を具体化する対策の検討

４　「昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）」の活用

公私間の定員協議において、これまで「公立中学校卒業生に対する全日制高校及び高等専門学校への進学実績」を表す「全日制進学率」の向上に向けて、様々な取組みを実施してきたところであり、今後もそれは「基本的な考え方」の一つとして変わらない。しかし、昨今の中学生の進路選択の多様化等を踏まえ、「昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）」という指標を「全日制進学率」と併せて活用する。

５　令和３年度公私立高等学校生徒全日制入学定員の目標設定の考え方及び計画

・　全日制進学率の向上を推進するため、公私各々が自らの責任として実現を目指す定員目標を明確にした上で、その実現に最大限の努力をするものとする。

・　入学定員目標を設定するにあたり、これまでの実績や施設規模、教員規模等を勘案する。

・　上記を踏まえ、公立の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向に対応できるよう定員枠を確保することとし、県内公立中学校卒業予定者のうち39,550人程度を入学定員の目標とする。

・　上記を踏まえ、私学の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向及び私学への進学希望の実現に対応できるよう定員枠を確保することとし、県内公立中学校卒業予定者のうち14,450人程度を入学定員の目標とする。

・　なお、この定員目標に見合った募集人員を、公私ともに10月までには公表するものとする。

（参考：公立中学校卒業予定者65,108人）

〈参考資料〉

総合的な対応のこれまでの実績

1　経済的な課題を抱えた生徒の受入れ

○私立高等学校の生徒に対する学費支援の実績等

	＜学費補助金＞	＋	＜就学支援金＞	＝	＜合計＞
28年度	3,274,586千円		6,203,281千円		9,477,867千円（実績）
29年度	3,286,370千円		6,194,171千円		9,480,541千円（実績）
30年度	4,432,194千円		6,362,578千円		10,794,772千円（実績）
元年度	4,486,425千円		6,404,732千円		10,891,157千円（実績）
２年度	2,900,881千円		9,213,254千円		12,114,135千円（実績）
３年度	3,394,643千円		10,370,426千円		13,765,069千円（当初予算）

（　内　訳　）

○私立高等学校生徒学費補助金

・平成27年度当初予算において入学金補助を増額、所得区分Ⅲ・Ⅳの補助単価を増額
・平成28年度当初予算において所得区分Ⅰ・Ⅱの補助単価を増額
・平成29年度当初予算において所得区分Ⅲ・Ⅳの補助単価を増額
・平成30年度当初予算において所得区分Ⅲ・Ⅳの補助単価を増額（当該区分の実質無償化を実現）
・令和元年度当初予算において所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの補助単価を増額
・令和２年度当初予算において所得区分Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの基準変更、所得区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの補助単価を変更
・令和３年度当初予算においては、令和２年度から基準や補助単価の変更なし

＜学費補助の対象生徒数・予算額等＞

27年度	22,023人	3,051,465千円（実績）
28年度	23,815人	3,274,586千円（実績）
29年度	22,772人	3,286,370千円（実績）
30年度	25,574人	4,432,194千円（実績）
元年度	25,339人	4,486,425千円（実績）
２年度	18,363人	2,900,881千円（実績）
３年度	19,345人	3,394,643千円（当初予算）

○高等学校等就学支援金事業費

・平成22年度より新たに創設、平成26年度から、制度改正により所得制限ができた。

＜就学支援金の対象生徒数・予算額等＞

	【私学】		【県立】	
29年度	36,664人	6,194,171千円（実績）	97,659人	10,692,136千円（実績）
30年度	37,878人	6,362,578千円（実績）	98,058人	10,724,891千円（実績）
元年度	39,092人	6,404,732千円（実績）	96,460人	10,610,644千円（実績）
２年度	38,904人	9,213,254千円（実績）	93,031人	10,174,909千円（実績）
３年度	41,369人	10,370,426千円（当初予算）	92,177人	10,367,900千円（当初予算）

○神奈川県高等学校奨学金

・学業等に意欲があり、学資の援助を必要とする高校生等に対して奨学金を貸し付けた。
（平成27年12月に条例改正を行い、平成28年度から現行制度。）

＜奨学金採用(定期･予約)者数及び奨学金貸付総額＞

	【私学】	【国公立】	
27年度	2,742人	1,174人	1,570,368千円（実績）
28年度	2,310人	936人	1,127,470千円（実績）
29年度	2,002人	730人	933,960千円（実績）
30年度	1,701人	634人	795,570千円（実績）
元年度	1,449人	503人	684,530千円（実績）
２年度	1,386人	517人	648,480千円（実績）
３年度	2,600人（私学・国公立全体）		1,000,000千円（当初予算）

○神奈川県高校生等奨学給付金（平成26年4月以降の入学者が対象）

・高校生等がいる、生活保護（生業扶助）受給世帯又は都道府県民税・市町村民税所得割非課税世帯（家計急変により非課税相当となった世帯を含む）に対して、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金の給付を行った。

	【私学】		【国公立】	
28年度	5,518人	452,240千円（実績）	14,594人	1,082,011千円（実績）
29年度	5,601人	502,035千円（実績）	14,930人	1,221,638千円（実績）
30年度	5,461人	501,259千円（実績）	14,214人	1,197,836千円（実績）
元年度	4,829人	458,219千円（実績）	12,801人	1,092,045千円（実績）
２年度	4,985人	614,915千円（実績）	12,116人	1,332,220千円（実績）
３年度	5,017人	537,244千円（当初予算）	12,846人	1,356,000千円（当初予算）

１　経済的な課題を抱えた生徒の受入れ（続き）

○県立高校における入学検定料等減免制度

・令和元年度実績

入学検定料免除額・人数	2,462千円	1,235人
入学料免除額・人数	6,015千円	1,193人

・令和２年度実績

入学検定料免除・人数	2,161千円	1,087人
入学料免除額・人数	5,096千円	1,007人

○県、県・三市教育委員会、私立中高協会による中学生生徒、保護者、教員への制度の周知徹底

・進路指導中・高連絡協議会、神奈川の高校展（全公立展、全私学展、公私合同説明・相談）等で学費補助等支援制度を周知徹底（令和２年度は新型コロナウイルス感染症による影響でイベント中止している）

・公立中学生全員及び教員に中学校を通じてチラシを配付

○私立高校の入学時納付金の支払い延納措置の導入

・私立高校と私立中高協会の一体的取り組みにより、入学時納付金の支払いを延納することにより、経済的な課題を抱えた生徒の私学への進学促進を図った。

２　不登校生徒等の受入対策

○公立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策

・平成20年度入選から、長期の欠席を理由とする選抜方法申請書に係る運用を見直し（２・３年次の評点を活用しない場合のほか、いずれかの学年のみを活用しないとすることも選択できるよう変更）

・平成24年度入選から、第２学年、第３学年のいずれかの学年、または両方の学年において、欠席日数等が出席しなければならない日数の１/２以上から１/３以上に緩和した。

・公立全日制高校への志願・合格状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度
志願者数	288人	318人	419人	429人	451人	489人	543人
合格者数	228人	241人	325人	339人	379人	415人	423人

○私立高等学校における不登校生徒等の受け入れ対策

・不登校生徒の受入体制を整備する私立高校への補助を平成19年度に創設(4,000千円/１校)

・補助実績は24年度から27年度は１校、28年度から30年度は２校、令和元年度は３校、２年度は２校、令和３年度予算では２校

（参考）県内公立中学校不登校生徒（中学３年生）※の全日制高校への進路状況

※24年度2,757人　25年度2,815人　26年度2,821人　27年度2,447人

公立高校へ進学　24年度266人　25年度331人　26年度376人　27年度324人

私立高校へ進学　24年度320人　25年度313人　26年度369人　27年度313人

注：27年度中卒者が対象の28年度入選及び公募実施校は、県内公立高校153校、県内私立51校。ただし、上記の数字は他都県高校への進学者を含む。

※　県内公立中学校不登校生徒の全日制高校への進路状況について、これまで文部科学省実施の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の基づき、神奈川県教育委員会が付随して調査してきたが、平成28年度の調査から文部科学省の調査方法が変更になったため、進路状況については把握できなくなった。

３　ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞ

○一人ひとりが持っている力を必ずしも十分に発揮できなかった生徒に対して、これまで以上に学習への意欲を高め、基礎学力や社会性を身につけて有意義な高校生活を送れるよう、１クラス30人以下での展開や授業時間の工夫を行うといった「新たな仕組み」としてｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞｽｸｰﾙを導入

・20年度から一部前倒し（少人数学習など）実施

・21年度から本格的導入（田奈・大楠・釜利谷の３校で、学力検査を実施しない・調査書の評点によらない入学者選抜方法を21年度入選から実施）

・県立高校改革により、29年度から新たに２校（大井・大和東）を指定

４　定時制等の受入	**○県立定時制高等学校専門学科の総合学科への改編** ・平成19年度、３校（向の岡工業・平塚商業・磯子工業）を総合学科に改編
	○県立独立型通信制高等学校の設置 ・平成20年４月開校（横浜修悠館高校平成19年11月設置）
	○県立多部制定時制高等学校の設置 ・平成22年４月開校（相模向陽館高校） ・平成26年４月開校（横浜明朋高校）
５　その他の対策	**○私立高等学校における更なる特色・魅力づくり** ・平成19年度から、体育活動、文化活動やグローバル教育を推進することにより特色・魅力づくりを行う私立高校に対して補助
	○県市教育委員会、私立中高協会による県内高校への進学促進 ・神奈川の高校展（全公立展、全私学展、公私合同説明・相談会）等で神奈川県の公私立高校の魅力を中学生にアピール（令和２年度は新型コロナウイルス感染症による影響でイベント中止、令和３年度は私学展についてはＷｅｂ開催。） ※他都県国公私立高校等への進学者 H28 5,965人、H29 5,851人、H30 5,590人、H31 5,589人、R2 5,601人、R3 5,466人

資料４

令和3年度入学者選抜実績

【令和3年度】　　（単位：人）

区分			募集定員	募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	合格者数計	入学者数
全日制	公立	共通選抜	39,730	39,730	46,714	46,270	38,772	38,957	39,274
		二次募集		1,039	190	186	185	前年比 96.2%	前年比 96.2%
	私立	公募		15,135	51,867	51,425	48,155	前年比 99.4%	前年比 97.0% 15,169
		併設		8,220	7,935	7,935	7,935	前年比 100.1%	前年比 99.9% 7,921
		計		23,355	59,802	59,360	56,090	前年比 99.5%	前年比 98.0% 23,090
定時制	公立	共通選抜 A	3,000	1,250	910	900	895	1,340	1,329
		共通選抜 B		1,400	355	349	344		
		計		2,650	1,265	1,249	1,239		
		共通選抜二次募集		355	36	35	35		
		定通分割選抜 B		1,406	133	114	51	前年比	前年比
		定通分割選抜二次募集		1,355	15	15	15	86.3%	86.6%
通信制	公立	共通選抜	1,520	1,216	330	325	325	415	521
		定通分割選抜		1,195	85	80	72	前年比	前年比
		定通分割選抜二次募集		1,123	19	18	18	90.6%	87.3%
	私立(公募)			590	645	645	642	前年比 95.8%	前年比 104.0% 231

※1　募集定員等は特別募集及び中途退学者募集を除いた数、志願者数は志願変更後の数である。

※2　定時制については、夜間以外の定時制（県立横浜明朋高校、県立川崎高校、県立厚木清南高校、県立相模向陽館高校、横浜市立横浜総合高校及び川崎市立川崎高校）はＡ、夜間の定時制21校はＢとした。

※3　公立高校、私立高校の入学者数は、令和３年５月１日のものである。

※4　全日制公立高校の入学者数には、横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校からの入学者数を含む。

※5　通信制高校の入学者数には、転編入学者数を含む。

【参考　令和2年度入学者選抜実績】　　（単位：人）

区分			募集定員	募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	合格者数計	入学者数
全日制	公立	共通選抜	41,280	41,280	48,275	47,891	40,287	40,480	40,806
		二次募集		1,071	200	195	193	前年比 95.3%	前年比 95.6%
	私立	公募		15,125	53,524	53,014	48,430	前年比 94.0%	前年比 99.4% 15,627
		併設		8,181	7,927	7,927	7,927	前年比 98.7%	前年比 98.7% 7,924
		計		23,306	61,451	60,941	56,357	前年比 94.6%	前年比 99.2% 23,551
定時制	公立	共通選抜 A	3,035	1,250	1,042	1,032	1,002	1,552	1,535
		共通選抜 B		1,428	435	430	424		
		計		2,678	1,477	1,462	1,426		
		共通選抜二次募集		248	38	36	36		
		定通分割選抜 B		1,362	154	133	68	前年比	前年比
		定通分割選抜二次募集		1,298	22	22	22	94.7%	93.8%
通信制	公立	共通選抜	1,520	1,216	368	361	361	458	597
		定通分割選抜		1,159	95	89	76	前年比	前年比
		定通分割選抜二次募集		1,084	22	21	21	110.4%	101.5%
	私立(公募)			590	677	676	670	前年比 109.3%	前年比 104.2% 222

※1　募集定員等は特別募集及び中途退学者募集を除いた数、志願者数は志願変更後の数である。

※2　定時制については、夜間以外の定時制（県立横浜明朋高校、県立川崎高校、県立厚木清南高校、県立相模向陽館高校、横浜市立横浜総合高校及び川崎市立川崎高校）はＡ、夜間の定時制21校はＢとした。

※3　公立高校、私立高校の入学者数は、令和２年５月１日のものである。

※4　全日制公立高校の入学者数には、横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校及び川崎市立川崎高等学校附属中学校からの入学者数を含む。

※5　通信制高校の入学者数には、転編入学者数を含む。

資料４－２

県内中学校卒業者の進学率

令和３年度

出身中学校等	進学先		進学者数	全日制進学率	昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）
	学校の区分				
県内公立　中卒者	全日制・高等専門学校	県内公立高校	39,160	58,818 ／ 65,159 ＝90.3%	
		県内私立高校	14,192		
		県外の高校等	5,466		
県内国私立　中卒者	全日制・高等専門学校		8,390		68,921 ／74,296 ＝92.8%
県内国公私立中卒者	定時制昼間	県内公立高校	742		
	通信制平日登校型	県内公立高校	160		
		県内私立高校	229		
県内中等教育学校（前期課程修了者）	中等教育学校（後期課程）等		582		

※　公立中学校卒業者数（義務教育学校卒業者を含む）　65,159人

※　国公私立中学校卒業者数（義務教育学校卒業者を含む）及び中等教育学校前期課程修了者数　74,296人

令和２年度

出身中学校等	進学先		進学者数	全日制進学率	昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）
	学校の区分				
県内公立　中卒者	全日制・高等専門学校	県内公立高校	40,637	60,757 ／ 67,115 ＝90.5%	
		県内私立高校	14,519		
		県外の高校等	5,601		
県内国私立　中卒者	全日制・高等専門学校		8,294		70,781 ／76,186 ＝92.9%
県内国公私立中卒者	定時制昼間	県内公立高校	730		
	通信制平日登校型	県内公立高校	165		
		県内私立高校	220		
県内中等教育学校（前期課程修了者）	中等教育学校（後期課程）等		615		

※　公立中学校卒業者数（義務教育学校卒業者を含む）　67,115人

※　国公私立中学校卒業者数（義務教育学校卒業者を含む）及び中等教育学校前期課程修了者数　76,186人

資料４－３

公立中学校卒業者等の進学率について

１　全日制進学率

卒業年 進学年	公立中学校 卒業者数	全日制高校・高等専門 学校進学者数、進学率	
R3	65,159	58,818	90.3%
R2	67,115	60,757	90.5%
31	68,742	62,433	90.8%
30	69,140	62,849	90.9%
29	69,996	63,484	90.7%
28	70,397	64,014	90.9%
27	69,744	62,886	90.2%
26	70,571	62,938	89.2%
25	68,969	61,220	88.8%

※　R2年の数値は令和２年８月７日開催予定の教育委員会での報告をもって確定

２　昼間の時間帯で学ぶ進学率（昼間進学率）

卒業年 進学年	上にプラス 国立私立中学校卒業者数、 中等教育学校前期課程終了者数	上にプラス 中等教育学校後期課程、 定時制昼間部、 通信制平日登校型進学者数、進学率	
R3	74,296	68,921	92.8%
R2	76,186	70,781	92.9%
31	77,892	72,532	93.1%
30	78,433	73,293	93.4%
29	79,403	74,262	93.5%
28	79,969	74,850	93.6%
27	79,617	74,104	93.1%
26	80,472	74,398	92.5%
25	79,242	72,890	92.0%

※１　中等教育学校は平成10年の法改正により創設された制度で、本県では平成13年度から設置されている。
※２　定時制昼間部進学者とは、「県立横浜明朋高校」「県立相模向陽館高校」「市立横浜総合高校Ⅰ部・Ⅱ部」及び「市立川崎高校昼間部」へ進学した者である。相模向陽館高校は平成22年度、横浜総合高校は平成14年度から生徒を募集している。
※３　平日登校型通信制とは、私立通信制高校及び平成20年度に開校した横浜修悠館高校に入学した新規中卒者である。

（全日制高等学校、高等専門学校
定時制高等学校（昼間部）
通信制高等学校（平日登校型）
中等教育学校後期課程　進学者）／（県内国公私立中学校卒業者
中等教育学校前期課程修了者）＝92.8%

３　高等学校等進学率

卒業年 進学年	国公私立中学校卒業者	高等学校等進学者 （高等学校（全・定・通） 中等教育学校後期課程 高等専門学校 特別支援学校高等部 （いずれも別科を含む））	進学率
R3	73,705	73,158	99.3%
R2	75,565	74,830	99.0%
31	77,289	76,567	99.1%
30	77,792	77,091	99.1%
29	78,767	77,937	98.9%
28	79,314	78,474	98.9%
27	78,931	77,825	98.6%
26	79,734	78,587	98.6%
25	78,468	77,043	98.2%

※　中等教育学校前期課程から後期課程に入った者は除く。

４　公立中学校卒業者の進路状況別進学率

進学年度	公立中卒者数	全日制進学率	公立		私立		県外等		定時制（県内外）		通信制（県内外）	
			進学者数	率	進学者数	率	進学者数	率	進学者数	率	進学者数	率
H20	64,507	89.2%	39,321	61.0%	12,229	19.0%	5,979	9.3%	2,185	3.4%	2,421	3.8%
H21	65,422	88.7%	39,797	60.8%	12,268	18.8%	5,952	9.1%	2,539	3.9%	2,575	3.9%
H22	68,711	88.2%	41,469	60.4%	13,307	19.4%	5,795	8.4%	2,888	4.2%	3,064	4.5%
H23	66,521	88.0%	40,164	60.4%	12,972	19.5%	5,403	8.1%	2,838	4.3%	3,096	4.7%
H24	67,856	88.3%	41,200	60.7%	13,203	19.5%	5,501	8.1%	2,748	4.0%	2,792	4.1%
H25	68,969	88.8%	42,155	61.1%	13,403	19.4%	5,662	8.2%	2,532	3.7%	2,845	4.1%
H26	70,571	89.2%	43,379	61.5%	13,479	19.1%	6,080	8.6%	2,627	3.7%	2,845	4.0%
H27	69,744	90.2%	43,079	61.8%	13,714	19.7%	6,093	8.7%	2,249	3.2%	2,522	3.6%
H28	70,397	90.9%	43,528	61.8%	14,521	20.6%	5,965	8.5%	2,062	2.9%	2,440	3.5%
H29	69,996	90.7%	43,487	62.1%	14,146	20.2%	5,851	8.4%	2,028	2.9%	2,546	3.6%
H30	69,140	90.9%	42,824	61.9%	14,435	20.9%	5,590	8.1%	1,780	2.6%	2,717	3.9%
H31	68,742	90.8%	42,347	61.6%	14,497	21.1%	5,589	8.1%	1,516	2.2%	3,034	4.4%
R2	67,115	90.5%	40,637	60.5%	14,519	21.6%	5,601	8.4%	1,407	2.1%	3,222	4.8%
R3	65,159	90.3%	39,160	60.1%	14,192	21.8%	5,466	8.4%	1,227	1.9%	3,540	5.4%

※　R3年の数値は令和３年８月３日開催予定の教育委員会での報告をもって確定

高校進学率全国比較表

資料４－４

「全国の国・公・私立中学校卒業者の進学率」

国公私立中学校卒業者の

高等学校等進学者
（高等学校（全・定・通）
中等教育学校後期課程(※公立中学校から)
高等専門学校
特別支援学校高等部
（いずれも別科を含む。））

国公私立中学校卒業者の

全日制高等学校進学者

公立中学校卒業者の

全日制高等学校
高等専門学校　進学者

（公私間協議使用）

１　本県の進学率（R3.3）

卒業年月	国公私立中卒者a	高等学校等進学者b	進学率 b/a
R3.3	73,705	73,158	99.26%
R2.3	75,565	74,830	99.03%
H31.3	77,289	76,567	99.07%
H30.3	77,792	77,091	99.10%
H29.3	78,767	77,937	98.95%
H28.3	79,314	78,474	98.94%

卒業年月	国公私立中卒者a	全日制進学者c	全日制進学率c/a
R3.3	73,705	67,084	91.02%
R2.3	75,565	68,898	91.18%
H31.3	77,289	70,666	91.43%
H30.3	77,792	71,225	91.56%
H29.3	78,767	71,994	91.40%
H28.3	79,314	72,671	91.62%

卒業年月	公立中卒者d	全日制等進学者e	全日制進学率e/d
R3.3	65,159	58,818	90.27%
R2.3	67,115	60,757	90.53%
H31.3	68,742	62,433	90.82%
H30.3	69,140	62,849	90.91%
H29.3	69,996	63,484	90.70%
H28.3	70,397	64,014	90.93%

２　全国比較（R2.3）

	都道府県	国公私立中卒者a	高等学校等進学者b	進学率 b/a
	計	1,087,468	1,074,708	98.83%
1	新　潟	18,495	18,417	99.58%
2	岩　手	10,610	10,560	99.53%
3	山　形	9,577	9,529	99.50%
4	福　井	7,107	7,065	99.41%
5	石　川	10,156	10,093	99.38%
6	富　山	9,304	9,240	99.31%
7	青　森	10,757	10,683	99.31%
8	和歌山	8,057	7,997	99.26%
9	徳　島	6,228	6,175	99.15%
10	大　分	9,743	9,659	99.14%
11	宮　城	19,756	19,584	99.13%
12	長　崎	12,135	12,029	99.13%
13	滋　賀	13,732	13,612	99.13%
14	京　都	21,903	21,706	99.10%
15	熊　本	16,137	15,989	99.08%
16	埼　玉	62,523	61,940	99.07%
17	茨　城	25,321	25,080	99.05%
18	鹿児島	15,005	14,862	99.05%
19	島　根	5,821	5,765	99.04%
20	栃　木	17,560	17,390	99.03%
21	神奈川	75,417	74,683	99.03%
22	群　馬	17,591	17,415	99.00%
23	奈　良	12,207	12,084	98.99%
24	香　川	8,946	8,853	98.96%
25	愛　媛	11,281	11,163	98.95%
26	長　野	18,924	18,711	98.87%
27	山　梨	7,319	7,236	98.87%
28	千　葉	53,336	52,730	98.86%
29	高　知	5,721	5,655	98.85%
30	岐　阜	18,630	18,413	98.84%
31	北海道	42,181	41,689	98.83%
32	兵　庫	48,624	48,050	98.82%
33	岡　山	17,103	16,894	98.78%
34	東　京	100,463	99,230	98.77%
35	三　重	16,342	16,138	98.75%
36	広　島	24,977	24,661	98.73%
37	秋　田	7,760	7,659	98.70%
38	大　阪	75,353	74,351	98.67%
39	愛　知	69,675	68,680	98.57%
40	静　岡	33,378	32,870	98.48%
41	鳥　取	5,003	4,926	98.46%
42	山　口	11,611	11,419	98.35%
43	佐　賀	7,797	7,664	98.29%
44	福　島	16,533	16,236	98.20%
45	福　岡	45,106	44,267	98.14%
46	宮　崎	10,106	9,896	97.92%
47	沖　縄	16,157	15,760	97.54%

全国比較（R2.3）

	都道府県	国公私立中卒者a	全日制進学者c	全日制進学率c/a
	計	1,087,468	996,674	91.65%
1	山　形	9,577	9,091	94.93%
2	岩　手	10,610	10,054	94.76%
3	石　川	10,156	9,585	94.38%
4	鹿児島	15,005	14,144	94.26%
5	大　分	9,743	9,133	93.74%
6	長　崎	12,135	11,354	93.56%
7	群　馬	17,591	16,439	93.45%
8	佐　賀	7,797	7,280	93.37%
9	奈　良	12,207	11,397	93.36%
10	愛　媛	11,281	10,527	93.32%
11	和歌山	8,057	7,517	93.30%
12	千　葉	53,336	49,643	93.08%
13	熊　本	16,137	15,011	93.02%
14	滋　賀	13,732	12,758	92.91%
15	京　都	21,903	20,347	92.90%
16	青　森	10,757	9,990	92.87%
17	大　阪	75,353	69,934	92.81%
18	茨　城	25,321	23,490	92.77%
19	秋　田	7,760	7,178	92.50%
20	宮　崎	10,106	9,333	92.35%
21	山　梨	7,319	6,754	92.28%
22	福　岡	45,106	41,507	92.02%
23	埼　玉	62,523	57,477	91.93%
24	香　川	8,946	8,215	91.83%
25	岡　山	17,103	15,687	91.72%
26	富　山	9,304	8,530	91.68%
27	新　潟	18,495	16,936	91.57%
28	沖　縄	16,157	14,783	91.50%
29	長　野	18,924	17,309	91.47%
30	福　島	16,533	15,110	91.39%
31	宮　城	19,756	18,050	91.36%
32	東　京	100,463	91,736	91.31%
33	神奈川	75,417	68,764	91.18%
34	福　井	7,107	6,477	91.14%
35	栃　木	17,560	16,001	91.12%
36	徳　島	6,228	5,675	91.12%
37	高　知	5,721	5,211	91.09%
38	広　島	24,977	22,733	91.02%
39	山　口	11,611	10,530	90.69%
40	島　根	5,821	5,253	90.24%
41	静　岡	33,378	30,113	90.22%
42	北海道	42,181	37,987	90.06%
43	兵　庫	48,624	43,710	89.89%
44	鳥　取	5,003	4,485	89.65%
45	愛　知	69,675	62,249	89.34%
46	岐　阜	18,630	16,626	89.24%
47	三　重	16,342	14,561	89.10%

＜参考＞

・　本県の過去の全国順位

卒業年月	進学率	全国順位	（全国平均）
H13．３	92.0%	37	92.8%
H14．３	91.0%	40	92.7%
H15．３	91.9%	39	92.9%
H16．３	91.7%	40	93.0%
H17．３	91.0%	44	92.8%
H18．３	90.6%	46	92.7%
H19．３	90.3%	47	92.5%
H20．３	90.2%	46	92.4%
H21．３	89.7%	46	92.1%
H22．３	89.3%	47	91.9%
H23．３	89.2%	47	92.2%
H24．３	89.4%	47	92.3%
H25．３	89.8%	46	92.4%
H26．３	90.1%	46	92.4%
H27．３	91.0%	42	92.6%
H28．３	91.6%	39	92.7%
H29．３	91.4%	38	92.5%
H30．３	91.6%	37	92.4%
H31．３	91.4%	34	92.0%
R2．３	91.2%	33	91.7%

全国比較に係る情報は、学校基本調査（文科省）の集計結果公表後に更新。

公立中学生志願動向等調査結果（令和３年度）

資料５

◆調査の目的

定時制及び通信制の課程を受検した生徒一人ひとりの志願の動向や志願理由を明確にするために実施

◆調査結果

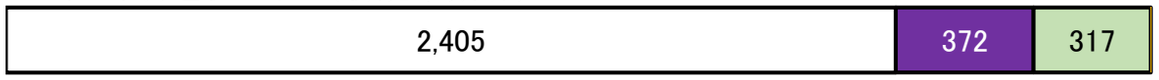
定時制の課程

Ｂ調査　定時制入学者へのアンケート調査

■　定時制入学者（新規卒業者）の進路希望状況

希望	R3	R2
公立全日制	**24.7%**	**23.0%**
公立定時制	20.8%	24.2%
公立昼間定時制	29.5%	27.4%
公立通信制	1.8%	1.3%
私立	1.3%	2.6%
不明・その他	21.8%	21.5%

■　定時制選択理由（新規卒業者）



積極的理由　77.7%　　消極的理由　12.0%　　その他　10.2%

理由	R3			R2	
公立全日制進学を希望していたが学力的に難しかった	209	7.5%		185	7.0%
公立全日制進学を希望していたが合格せず**私立全日制では経済的に難しかった**	**23**	0.8%	★1	**17**	**0.6%**
公立全日制進学を希望していたが経済的に難しかった	14	0.5%		20	0.8%
私立全日制進学を希望していたが経済的に難しかった	**26**	0.9%	★2	**15**	**0.6%**
私立全日制進学を希望していたが学力的に難しかった	19	0.7%		29	1.1%
私立全日制進学を希望していたが経済的に難しく公立全日制を不合格になった	**8**	0.3%	★3	**6**	**0.2%**
全日制への進学を希望していたが人とのかかわり方（友人関係など）で難しかった	73	2.6%		79	3.0%

経済的な理由で私学進学が難しいとする生徒の割合

合計　57　／　1,056　人　5.4%

（ R2　合計　38　／　931　人　4.1% ）

■　経済的な理由で私学進学が難しいとした生徒のうち、経済的支援が受けられることを知っていたか

	計	内訳					
		知っていた		知らなかった		回答なし	
★1	23	12	52.2%	9	39.1%	2	8.7%
★2	26	19	73.1%	7	26.9%	0	0.0%
★3	8	3	37.5%	5	62.5%	0	0.0%
合計	57	34	59.6%	21	36.8%	2	3.5%

■ 不登校経験／定時制入学者（新規＋過年度）

49.2%　617　／　1,254　人
（ R2　51.5%　635　／　1,234　人 ）

通信制の課程

Ｂ調査　通信制入学者へのアンケート調査

■ 通信制入学者（新規卒業者）の進路希望状況

公立全日制希望　13.0%　26　／　200　人
（ R2　19.6%　29　／　148　人 ）

公立通信制希望者　34.5%　69　／　200　人
（ R2　41.2%　61　／　148　人 ）

■ 通信制選択理由（新規卒業者）

積極的理由　79.6%　（ R2　75.0% ）
消極的理由　9.7%　（ R2　15.5% ）

■ 不登校経験／通信制入学者(新規＋過年度)

64.4%　210　／　326　人
（ R2　63.4%　154　／　243　人 ）

資料６

私立高等学校における学費補助の状況

○　公募校（全日制）における学費補助（入学金）の状況

令和３年度 (6月末現在)	令和２年度	令和元年度	平成30年度
１０，９３５人 県内在住１年生数 １７，１１７人 (63.9 %)	**７，０５６人** 県内在住１年生数 １７，６８４人 (39.9%)	**７，１７２人** 県内在住１年生数 １７，７０４人 (40.5%)	**７，３７９人** 県内在住１年生数 １７，６１７人 (41.9%)

＊　公募を行った全日制私立高校における入学金補助者数

・令和３年度は、全日制私立高校78校のうち56校が公募を実施

＊　令和３年度は６月末の申請数（個人番号カード等の運用により、６月末時点では算定基準額不明のため、対象外の可能性がある生徒も含めた申請数）、平成30年度～令和２年度は補助数。

・原則として年１回の６月申請としており、その後は随時申請

○　私立高等学校・中等教育学校後期課程の年間学費補助（授業料）状況

令和３年度 （６月末現在）	令和２年度	令和元年度	平成30年度
３５，８６９人 県内在住生徒総数 ６２，９４７人 (57.0%)	**１８，３６３人** 県内在住生徒総数 ６３，５２７人 (28.9%)	**２５，３３９人** 県内在住生徒総数 ６３，６１９人 (39.8%)	**２５，５７４人** 県内在住生徒総数 ６４，１８２人 (39.8%)

＊　非公募校や通信制を含む私立高校・中等教育学校後期課程における授業料補助実績

＊　令和３年度は６月末の申請数（個人番号カード等の運用により、６月末時点では算定基準額不明のため、対象外の可能性がある生徒も含めた申請数）であり、７月以降の追加申請は含まない。

○　令和３年度入学者選抜へ向けた中学３年生への学費補助制度周知状況

	広報時期(R2.6月～R3.2月)	会議名他	配布部数
1	6月　リーフレット	私立高等学校公募校・専修学校高等課程 (中学3年生説明会用)	34,400部
		公立中学校 (3年生・教員・進路指導用) (中学校を通じて配布)	104,710部
2	9月　リーフレット	神奈川・東京私立中高進学相談会	4,000部
3	10月　リーフレット	高校進学フェスタ	2,000部
4	11月　リーフレット	神奈川県公立高等学校入学者選抜に関する公立中学校等進路指導担当教諭説明会	790部
5	2月　チラシ	公立中学3年生全員 (中学校を通じて配布)	75,400部

資料６－２

神奈川県高等学校奨学金の状況

１　定期貸付採用者数（予約＋定期）

		28年度		29年度		30年度		元年度		２年度		３年度	
		人数	前年対比	人数	前年対比	人数	前年対比	人数	前年対比	人数	前年対比	人数	前年対比
国公立		936	79.7%	730	78.0%	634	86.8%	503	79.3%	517	102.8%	361	69.8%
私学	県内	1,437	81.6%	1,244	86.6%	1,059	85.1%	874	82.5%	852	97.5%	778	91.3%
	県外	873	89.1%	758	86.8%	642	84.7%	575	89.6%	534	92.9%	490	91.8%
	小計	2,310	84.2%	2,002	86.7%	1,701	85.0%	1,449	85.2%	1,386	95.7%	1,268	91.5%
計		3,246	82.9%	2,732	84.2%	2,335	85.5%	1,952	83.6%	1,903	97.5%	1,629	85.6%

※　令和３年度については、令和３年７月５日現在である。

２　予算の推移

（単位：千円）

	予　算			
	当初	補正	流用	合計
22年度	1,935,840	175,440		2,111,280
23年度	2,112,072	14,400		2,126,472
24年度	2,112,072			2,112,072
25年度	2,112,072			2,112,072
26年度	2,112,072	△ 162,072		1,950,000
27年度	1,950,000	△ 323,213	△ 27,795	1,598,992
28年度	1,600,000	△ 400,000		1,200,000
29年度	1,400,000	△ 380,000	△ 11,500	1,008,500
30年度	1,400,000	△ 487,110	△ 31,334	881,556
元年度	1,100,000	△ 291,680		808,320
２年度	1,000,000	△ 208,480		791,520
３年度	1,000,000			1,000,000

※　平成21年度から平成27年度まで国の高等学校授業料減免事業等支援臨時特例交付金を原資にして、成績要件の緩和と募集人員の拡大を臨時的に行っていた（特例交付金は平成26年度まで）。

※　平成27年度に高等学校奨学金の条例改正を行い、「育英」から「就学支援」への転換を図るなどの制度の大幅な見直しを行った（募集は平成28年度から）。

資料６－３

私立高等学校における更なる特色・魅力づくりへの県の支援

「体育活動・文化活動の推進」に対する支援（平成１９年度～）

１　趣　旨

体育活動や文化活動を推進することにより特色・魅力づくりを行う私立高等学校を支援する。

２　予算額

令和２年度　３８，５５０千円　（令和３年度　３８，５５０千円）

３　補助要件

次の（１）又は（２）のいずれかを満たす高等学校に対し、補助する。

（１）全国高等学校体育連盟若しくは日本高等学校野球連盟又は全国高等学校文化連盟に加入している学校の生徒が部活動（体育・文化活動）で優秀な成績を収めた。

（２）学校において部活動が活発に行われていると認められる。

４　令和２年度の補助実績

補助実績額　　体育活動の推進　１９，６５０千円
　　文化活動の推進　１７，２５０千円
　　計　　３６，９００千円（補助対象　５４校）

（内訳）

１　体育活動の推進に対する補助

（１）団体を対象としたもの

①　全国高等学校体育連盟関係	７校（１１団体）	３，３００千円
②　日本高等学校野球連盟関係	１校（１団体）	３００千円
③　部活動加入状況	０校	０千円
④　他の模範となる部活動	４７校	１４，１００千円

（２）個人を対象としたもの

①　全国高等学校体育連盟関係	１５校（６５人）	１，９５０千円

※（１）①、②、（２）①には重複校あり

２　文化活動の推進に対する補助

（１）団体を対象としたもの

①　全国高等学校総合文化祭関係	３校（３団体）	９００千円
②　その他全国大会関係	６校（７団体）	２，１００千円
③　部活動加入状況	０校	０千円
④　他の模範となる部活動	４６校	１３，８００千円

（２）個人を対象としたもの

①　全国高等学校総合文化祭関係	３校（１３人）	３９０千円
②　その他全国大会関係	１校（２人）	６０千円

※（１）①、②、（２）①には重複校あり

資料７

不登校生徒の現状

県内公立中学校の不登校生徒数

※不登校…年間30日以上欠席した児童生徒のうち、病気や経済的理由を除いたもの

（人）

学年	１年生	２年生	３年生	合計
令和元年度	2,524	3,294	3,752	9,570
平成30年度	2,241	3,252	3,362	8,855
平成29年度	2,200	3,053	3,235	8,488
平成28年度	1,943	2,748	2,961	7,652
平成27年度	1,758	2,412	2,246	6,416
平成26年度	1,698	2,401	2,821	6,920
平成25年度	1,590	2,414	2,815	6,819
平成24年度	1,500	2,389	2,757	6,646
平成23年度	1,630	2,526	2,976	7,132
平成22年度	1,775	2,657	3,124	7,556
平成21年度	1,757	2,654	3,263	7,674
平成20年度	1,799	2,933	3,260	7,992
平成19年度	1,930	2,813	3,206	7,949

※　上記数値は、神奈川県児童・生徒の問題行動等調査の結果より転記

※　令和元年度の数値は、令和2年10月22日公表

資料７－２

長期の欠席を理由とする選抜方法申請書を提出した受検者の状況について

１　申請内容

平成 20 年度の入学者選抜から、調査書の取扱いについて、「長期の欠席を理由とする選抜方法申請書」を提出することにより、

①　２年次又は３年次のいずれかの調査書の学習の記録を参考としない

②　２年次及び３年次における調査書の学習の記録を参考としない

のいずれかを選択できるように改善した。

また、平成 24 年度入学者選抜からは、第２学年、第３学年のいずれかの学年、または両方の学年において、対象欠席日数を出席しなければならない日数の１／２以上から１／３以上に緩和した。

２　申請者の状況

課　程	年 度 等	志願者数	受検者数	合格者数
全 日 制	**令和３年度**	**５４３**	**５２０**	**４２３**
	令和２年度	４８９	４８１	４１５
	平成31年度	４５１	４３７	３７９
	平成30年度	４２９	４１３	３３９
	平成29年度	４１９	４０１	３２５
	平成28年度	３１８	３０９	２４１
定 時 制	**令和３年度**	**２５２**	**２４８**	**２４４**
	令和２年度	２４１	２３８	２２９
	平成31年度	２１７	２１４	２１０
	平成30年度	２８４	２７４	２４５
	平成29年度	２９３	２８８	２６７
	平成28年度	２６０	２５５	２４６

※　全日制は共通選抜、定時制は共通選抜・定通分割選抜の延べ数。

資料７－３

私立高等学校における不登校生徒の受入れ体制整備に対する支援について（平成１９年度～）

１　趣　旨

不登校生徒の進路確保のため、不登校生徒の受入れ体制を整備する私立高等学校に対し助成する。

２　予算額

令和２年度　８００万円（令和３年度　８００万円）

３　補助要件

次の（１）又は（２）のいずれかを満たす全日制高等学校(構造改革特別区域制度による学校を除く。）　に対し、補助する。

（１）ア及びイの条件を満たしていること。

ア　高校１年生を対象とした不登校対策クラスを設置するなど、積極的に不登校生徒を受け入れる体制を整えている。

イ　「不登校対策」に従事している「教職員」がいて、かつ一般補助において、標準法により補助できなかった「教職員」がいる。

（２）ア及びイの条件を満たしていること。

ア　５月１日現在在籍する高校１年生のうち、中学３年時に年間３０日以上欠席した者（以下「不登校生徒」という。）が実員生徒数の５％以上いる。

イ　常勤の生徒指導担当教諭、又は常勤の養護教諭、養護助教諭若しくは養護職員を加配している。

４　令和２年度の補助実績

（１）補助対象校数　２校

（２）補助額　　＠４００万円×２校＝８００万円

（３）該当補助要件　上記３（１）に該当１校、（２）に該当２校

資料８

令和３年度クリエイティブスクール入学者対象アンケート

調査結果

１　アンケートの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　クリエイティブスクールの入学者選抜の状況　・・・・・　２

３　集計結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

（資料）令和３年度　クリエイティブスクール入学者対象アンケート用紙

令和３年７月

神奈川県教育委員会
高校教育課作成

１　アンケートの概要

（１）目的

県立のクリエイティブスクールに入学した生徒を対象に、志願状況（私学との併願等）や志願理由等について把握する。

（２）対象

クリエイティブスクール令和３年度入学者

クリエイティブスクール

・県立田奈高校　・県立釜利谷高校　・県立横須賀南高校
・県立大井高校　・県立大和東高校

（３）令和３年度入学者数及び回答者数

田奈高校		釜利谷高校		横須賀南高校		大井高校		大和東高校	
入学者数	回答者数	入学者数	回答者数	入学者数	回答者数	入学者数	回答者数	入学者数	回答者数
87人	61人	238人	201人	118人	115人	109人	103人	226人	202人

入学者数５校計	回答者数５校計	回答率
778人	682人	87.7%

（４）調査内容

（資料）令和３年度　クリエイティブスクール入学者対象アンケート用紙のとおり

（５）実施時期

５月中旬から６月中旬

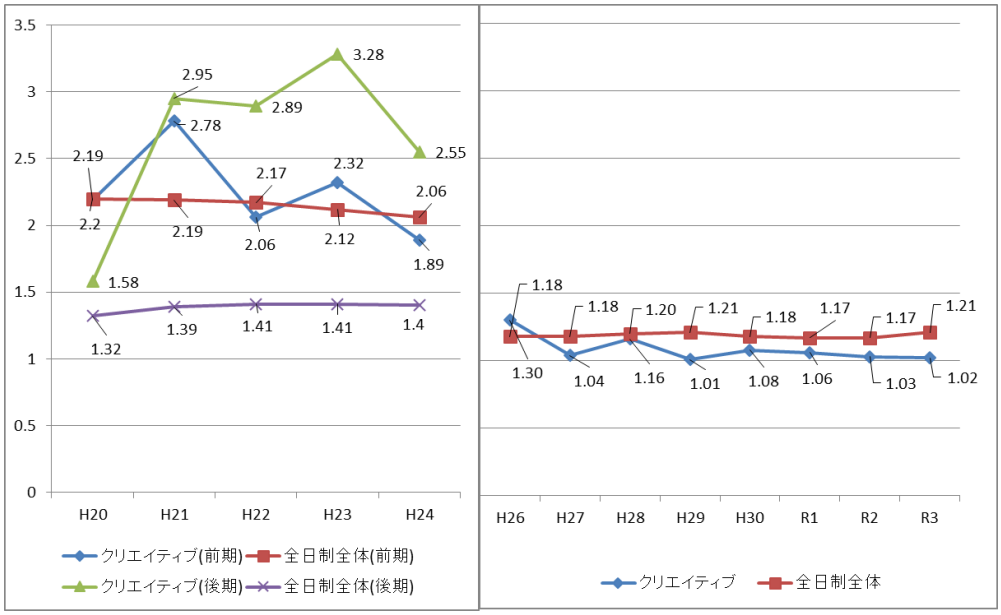
（６）集計

高校教育課高校教育企画室高校教育企画グループ

２　クリエイティブスクールの入学者選抜の状況

平成24年度までは前期、後期の２回の選抜機会があった。平成22年度以降、前期選抜での募集率は全ての高校で80%、後期選抜での募集率は20%であった。クリエイティブスクール導入当初の平成21年度の平均競争率は、前期選抜で2.78倍と高かった。

平成25年度入学者選抜から選抜の機会が共通選抜１回に変更となった。令和３年度入学者選抜の募集定員は906人に対し、受検者数は777人、入学者選抜の結果757人が合格した。平均競争率は1.02倍であった。



全日制全体とクリエイティブスクールの平均競争率

入学者選抜（令和元～令和３年度）

入学年度	学　校　名	募集定員	受検者数(A)	合格者数(B)	受検後取消者数(C)	競争率(A-C)/B
R3	田奈	157	82	81	1	1.00
	釜利谷	237	235	235	0	1.00
	横須賀南	118	135	118	0	1.14
	大井	157	107	107	0	1.00
	大和東	237	218	216	2	1.00
	合　　計	906	777	757	3	1.02
R2	田奈	198	119	118	1	1.00
	釜利谷	238	233	233	0	1.00
	横須賀南	118	142	118	0	1.20
	大井	198	129	129	0	1.00
	大和東	238	237	236	1	1.00
	合　　計	990	860	834	2	1.03
R1	田奈	238	184	183	1	1.00
	釜利谷	238	270	238	1	1.13
	大楠	118	139	118	0	1.18
	大井	198	182	181	1	1.00
	大和東	238	223	223	0	1.00
	合　　計	1030	998	943	3	1.06

（参考）平成24年度までの入学者選抜制度における状況

前期選抜（平成24年度まで）

入学年度	学　校　名	募集定員		募集人員	志願者数	面接者数(A)	合格者数(B)	前期選抜競争率(A)/(B)
H24	田奈	237	80%	189	377	375	189	1.98
	釜利谷	277		221	469	468	223	2.10
	大楠	237		189	294	293	189	1.55
	合　　計	751		599	1,140	1,136	601	1.89
H23	田奈	236	80%	188	529	527	188	2.80
	釜利谷	276		220	571	570	221	2.58
	大楠	236		188	297	297	192	1.55
	合　　計	748		596	1,397	1,394	601	2.32
H22	田奈	237	80%	189	386	384	189	2.03
	釜利谷	276		220	508	507	221	2.29
	大楠	237		189	350	347	192	1.81
	合　　計	750		598	1,244	1,238	602	2.06
H21	田奈	236	80%	188	642	640	188	3.40
	釜利谷	273		218	672	669	218	3.07
	大楠	237	70%	165	279	277	165	1.68
	合　　計	746		571	1,593	1,586	571	2.78

後期選抜（平成24年度まで）

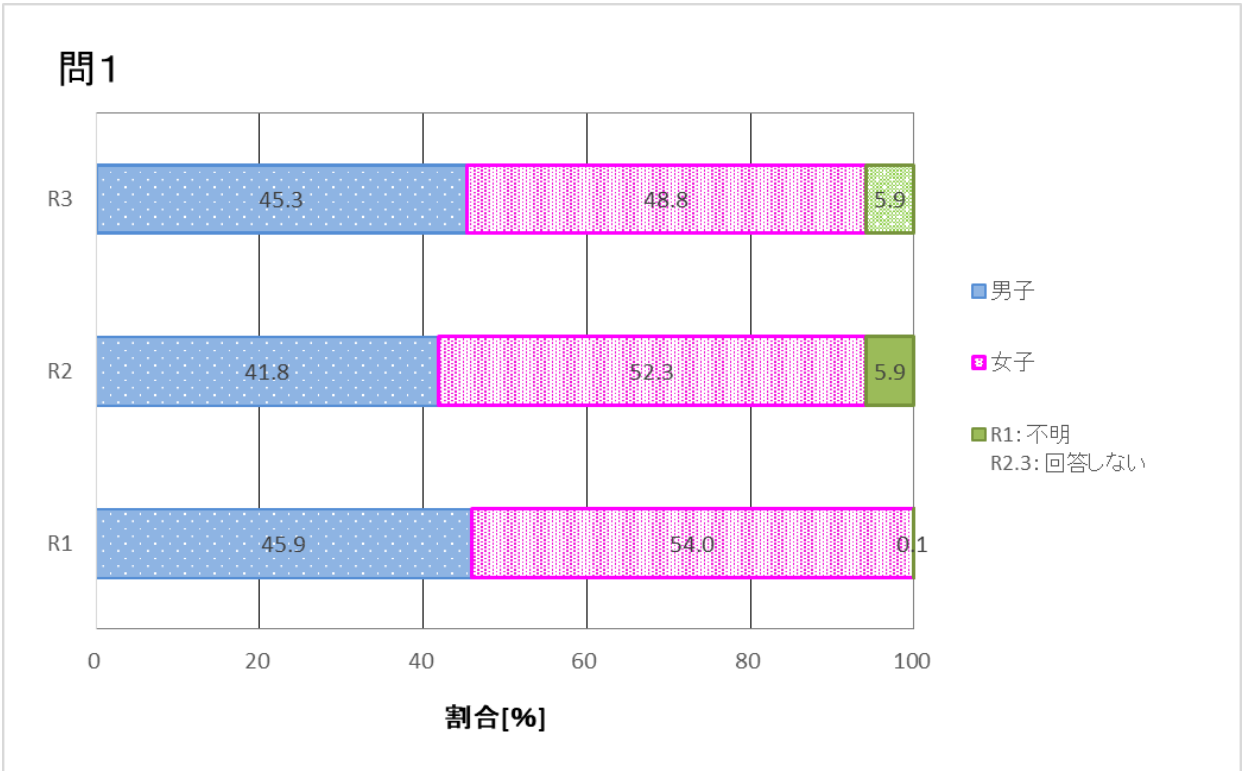
入学年度	学　校　名	募集定員	募集人員	志願者数	受検者数(A)	合格者数(B)	後期選抜競争率(A)/(B)
H24	田奈	237	48	132	129	50	2.58
	釜利谷	277	56	180	175	59	2.97
	大楠	237	48	111	106	52	2.04
	合　　計	751	152	423	410	161	2.55
H23	田奈	236	48	190	187	48	3.90
	釜利谷	276	56	226	218	59	3.69
	大楠	236	48	107	104	48	2.17
	合　　計	748	152	523	509	155	3.28
H22	田奈	237	48	131	129	49	2.63
	釜利谷	276	56	185	183	60	3.05
	大楠	237	48	148	145	49	2.96
	合　　計	750	152	464	457	158	2.89
H21	田奈	236	48	182	175	52	3.37
	釜利谷	273	55	240	236	62	3.81
	大楠	237	72	150	146	75	1.95
	合　　計	746	175	572	557	189	2.95

３　集計結果

問１　あなたの性別をお答えください。

人数（割合）

	R1	R2	R3
男	392 (45.9%)	304 (41.8%)	309 (45.3%)
女	461 (54.0%)	381 (52.3%)	333 (48.8%)
不明 回答しない	1 (0.1%)	43 (5.9%)	40 (5.9%)
計	854	728	682



○　令和２年度のアンケートから、選択肢の「男子」、「女子」に加えて「回答しない」を追加した。今年度は、5.9%の生徒が「回答しない」を選択した。

○　女子の入学者の割合が多い傾向が続いていたが、令和３年度は男女比が近づいてきている。

問２　他にどの検査を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

・この学校しか受検していない　　424人（62.2%）
・県内の私立高校（全日制課程）　　220人（32.3%）
・県外の私立高校（全日制課程）　　14人（ 2.1%）
・その他　　27人（ 4.0%）

問３　中学校３年生の10月の進路希望調査で、第１希望をどのようにしていましたか。あてはまるものを一つ選んでください。

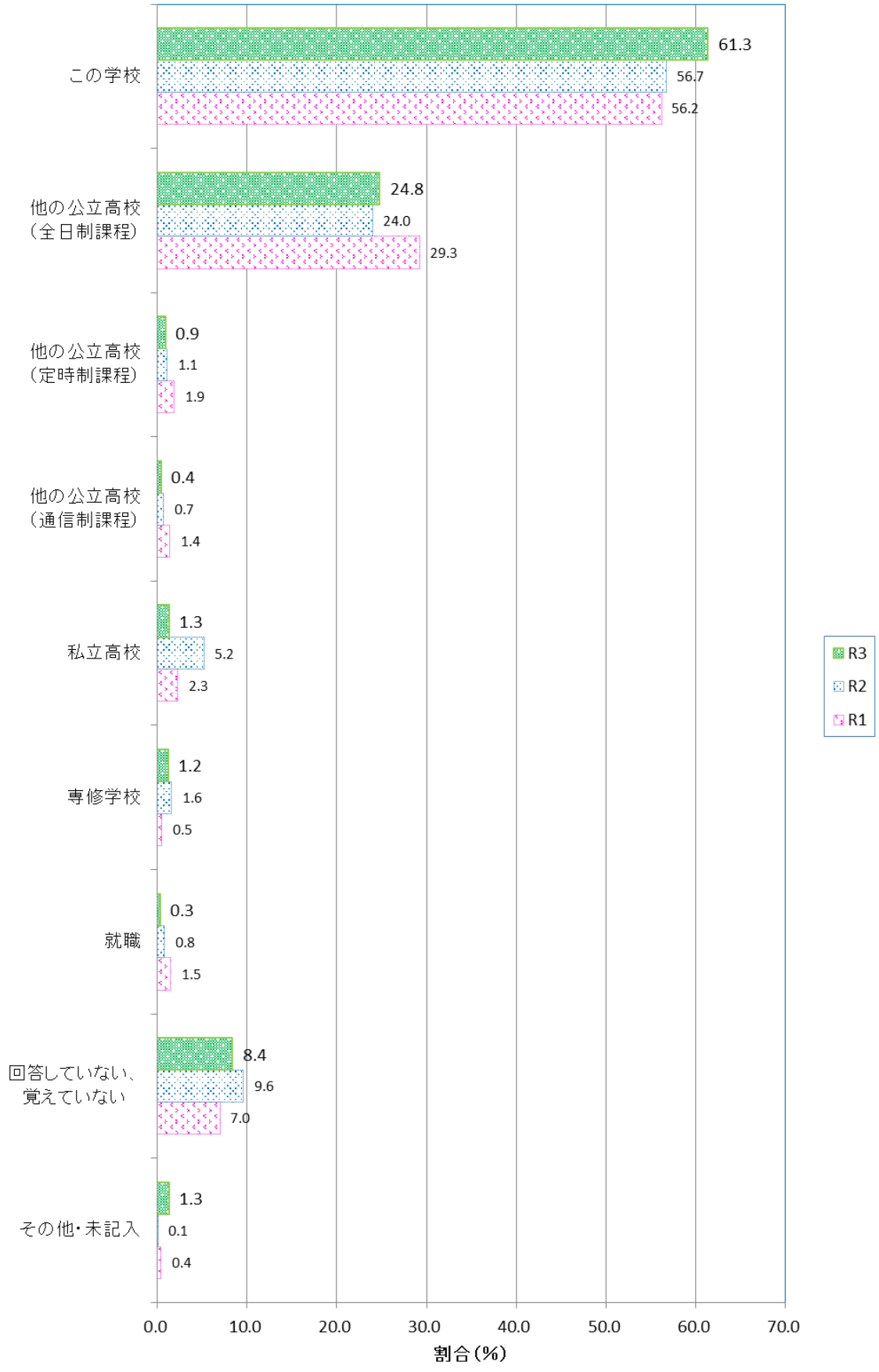
人数(割合)

項目＼年度	R1	R2	R3
この学校	480 (56.2%)	413 (56.7%)	**418** **(61.3%)**
他の公立高校 （全日制課程）	250 (29.3%)	175 (24.0%)	**169** **(24.8%)**
他の公立高校 （定時制課程）	16 (1.9%)	8 (1.1%)	**6** **(0.9%)**
他の公立高校 （通信制課程）	12 (1.4%)	5 (0.7%)	**3** **(0.4%)**
私立高校	20 (2.3%)	38 (5.2%)	**9** **(1.3%)**
専修学校	4 (0.5%)	12 (1.6%)	**8** **(1.2%)**
就職	13 (1.5%)	6 (0.8%)	**2** **(0.3%)**
回答していない、 または覚えていない	60 (7.0%)	70 (9.6%)	**57** **(8.4%)**
その他・記入なし	3 (0.4%)	1 (0.1%)	**9** **(1.3%)**

○　中学校３年生の10月の時点で進路希望をクリエイティブスクールとしていた生徒は418人で、全体の61.3 %となっている。

○　過去３年間の結果から「この学校」を第一希望とする生徒はやや増加傾向である。また「他の公立高校(全日制課程)」を第一希望とする生徒は減少傾向である。

問３


この学校
61.3
56.7
56.2
他の公立高校（全日制課程）
24.8
24.0
29.3
他の公立高校（定時制課程）
0.9
1.1
1.9
他の公立高校（通信制課程）
0.4
0.7
1.4
私立高校
1.3
5.2
2.3
専修学校
1.2
1.6
0.5
就職
0.3
0.8
1.5
回答していない、覚えていない
8.4
9.6
7.0
その他・未記入
1.3
0.1
0.4
R3
R2
R1
0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
割合（%）

問４　この学校を選んだ理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

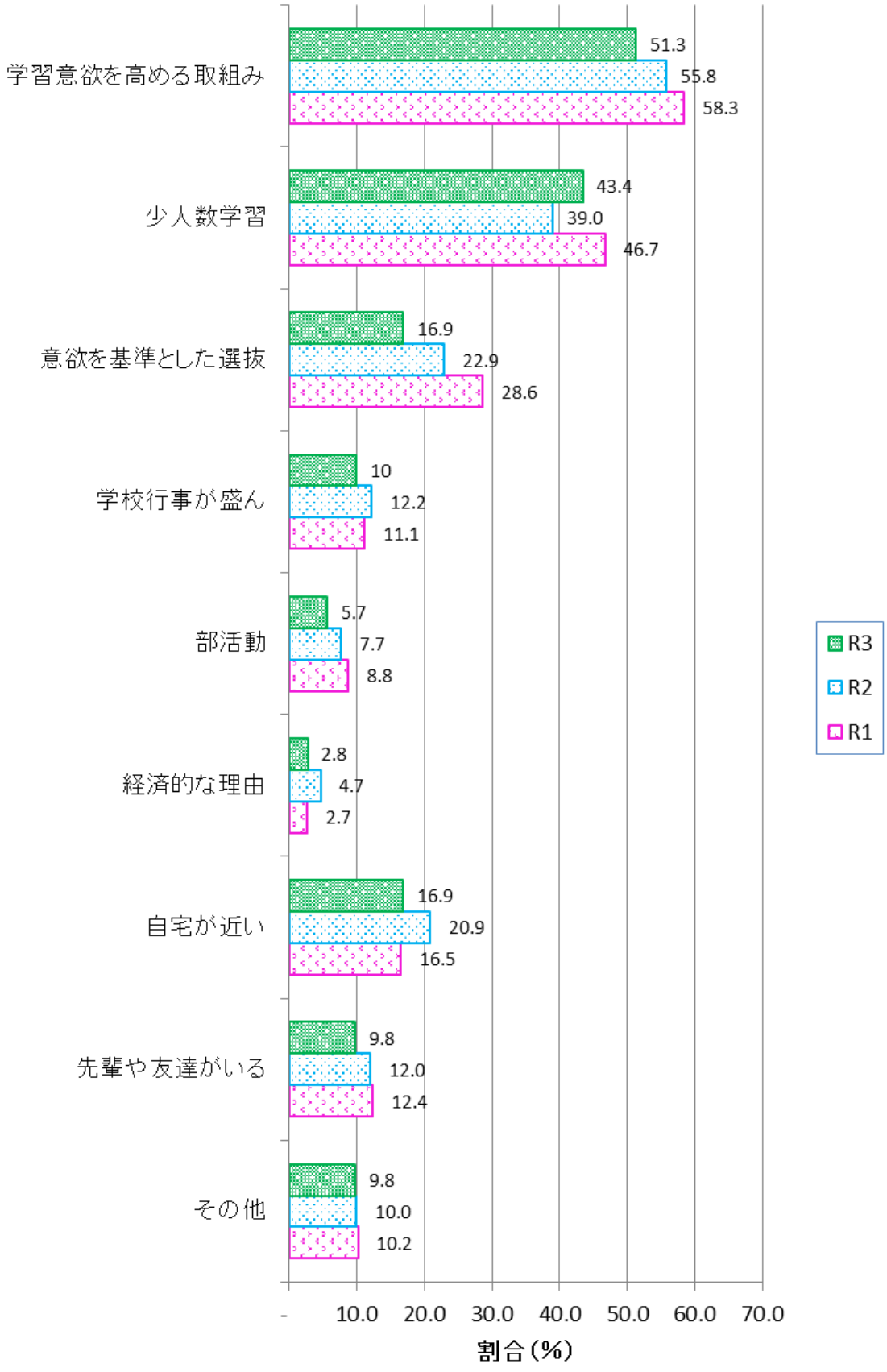
項目＼年度	R1	R2	R3
中学校での成績に関係なく、積極的に受け入れ、これまで以上に学習への意欲を高めようとする取組みを行うから	498 (58.3%)	406 (55.8%)	350 (51.3%)
少人数での学習など、授業を工夫し、きめ細かな教育を実施するから	399 (46.7%)	284 (39.0%)	296 (43.4%)
調査書の５段階の成績や学力検査等によらず、意欲を基準として選抜するから	244 (28.6%)	167 (22.9%)	115 (16.9%)
学校行事（体育祭・文化祭など）が盛んであるから	95 (11.1%)	89 (12.2%)	68 (10.0%)
この学校に入部したい部活動があるから	75 (8.8%)	56 (7.7%)	39 (5.7%)
私立高校への進学を希望していたが、経済的な理由で受検が出来なかったから	23 (2.7%)	34 (4.7%)	19 (2.8%)
自宅が近いから	141 (16.5%)	152 (20.9%)	115 (16.9%)
先輩や友達がいるから	106 (12.4%)	87 (12.0%)	67 (9.8%)
その他	87 (10.2%)	73 (10.0%)	67 (9.8%)

※　重複回答者がいるため、合計は回答者数と一致しない。

○　クリエイティブスクールを選んだ理由は、過去３年間の結果とも「中学校での成績に関係なく、積極的に受け入れ、これまで以上に学習への意欲を高めようとする取組みを行うから」の割合が最も多く、次いで「少人数での学習など、授業を工夫し、きめ細かな教育を実施するから」が多い。

○　令和元年度から令和２年度では、「自宅から近いから」、「私立高校への進学を希望していたが、経済的な理由で受検できなかったから」を選ぶ生徒が増加したが、令和３年度では減少した。

問４


学習意欲を高める取組み
51.3
55.8
58.3
少人数学習
43.4
39.0
46.7
意欲を基準とした選抜
16.9
22.9
28.6
学校行事が盛ん
10
12.2
11.1
部活動
5.7
7.7
8.8
経済的な理由
2.8
4.7
2.7
自宅が近い
16.9
20.9
16.5
先輩や友達がいる
9.8
12.0
12.4
その他
9.8
10.0
10.2
R3
R2
R1
-
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
割合（%）

問５　この学校を選ぶにあたって、あなたは何を参考にしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

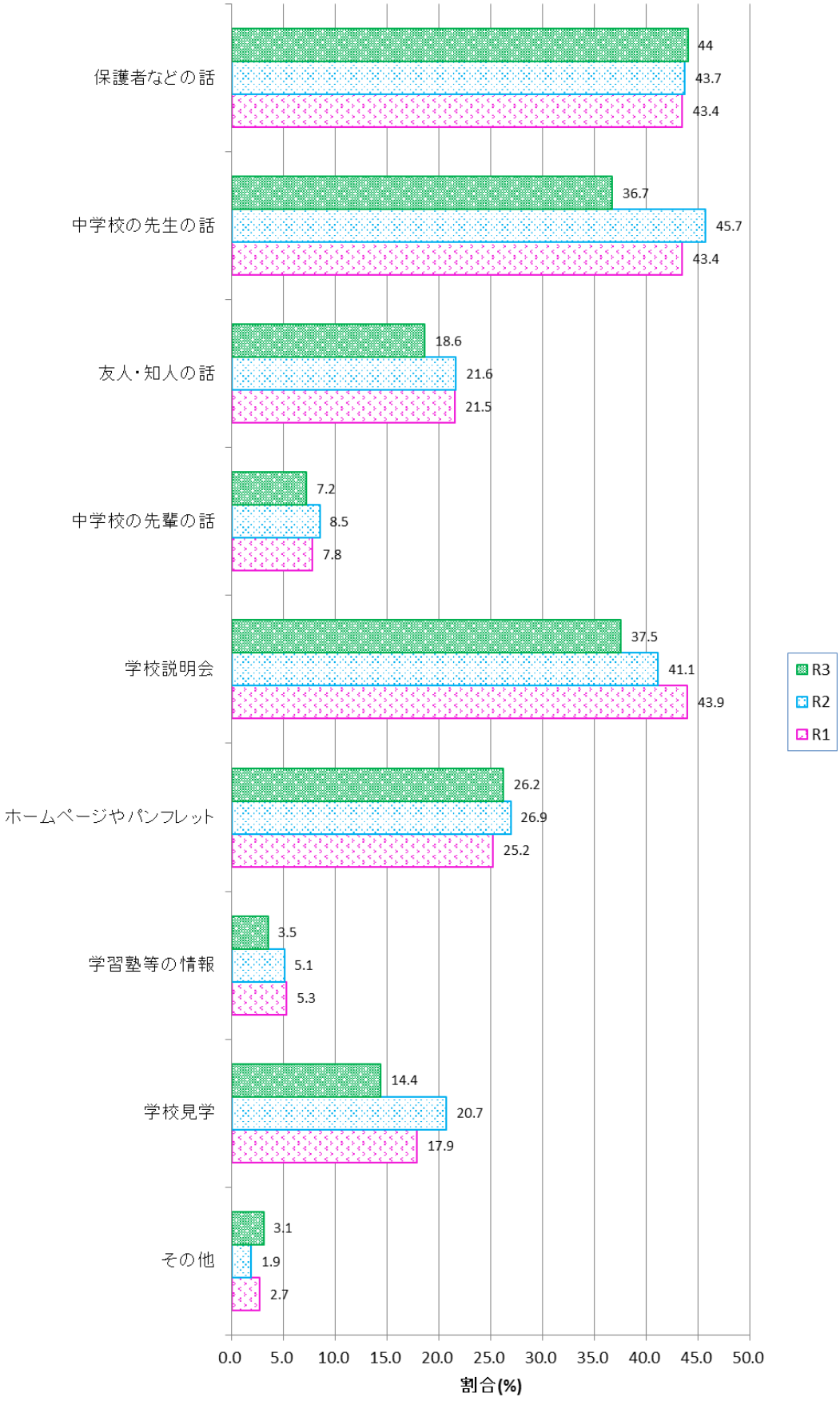
項目＼年度	R1	R2	R3
保護者など家族の話	371 (43.4%)	318 (43.7%)	300 (44.0%)
中学校の先生の話	371 (43.4%)	333 (45.7%)	250 (36.7%)
友人・知人の話	184 (21.5%)	157 (21.6%)	127 (18.6%)
中学校の先輩の話	67 (7.8%)	62 (8.5%)	49 (7.2%)
学校説明会 （他の学校との合同説明会を含む）	375 (43.9%)	299 (41.1%)	256 (37.5%)
高校紹介のホームページやパンフレット	215 (25.2%)	196 (26.9%)	179 (26.2%)
学習塾等の情報	45 (5.3%)	37 (5.1%)	24 (3.5%)
学校見学	153 (17.9%)	151 (20.7%)	98 (14.4%)
その他	23 (2.7%)	14 (1.9%)	21 (3.1%)

※　重複回答者がいるため、合計は回答者数と一致しない。

○　学校選択の参考にしているものは、「中学校の先生の話」や「保護者など家族の話」の割合が大きい。令和３年度については「中学校の先生の話」が減少した。

○　令和元年度・令和２年度は、「学校説明会」と「学校見学」とを合わせた割合は同程度で推移しているが、令和３年度は減少した。

問５


保護者などの話
44
43.7
43.4
中学校の先生の話
36.7
45.7
43.4
友人・知人の話
18.6
21.6
21.5
中学校の先輩の話
7.2
8.5
7.8
学校説明会
37.5
41.1
43.9
ホームページやパンフレット
26.2
26.9
25.2
学習塾等の情報
3.5
5.1
5.3
学校見学
14.4
20.7
17.9
その他
3.1
1.9
2.7
R3
R2
R1
0.0
5.0
10.0
15.0
20.0
25.0
30.0
35.0
40.0
45.0
50.0
割合(%)

問６　あなたがクリエイティブスクールの取組みに期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

項目＼年度	R1	R2	R3
基礎学力の定着をめざしたきめ細かな指導が受けられる少人数での学習	556 (65.1%)	426 (58.5%)	418 (61.3%)
自分のペースで取り組める理解度別による学習	531 (62.2%)	437 (60.0%)	402 (58.9%)
社会常識やルール、マナーを身につける学習	189 (22.1%)	192 (26.4%)	144 (21.1%)
大学の先生や外部の方による出前授業などによる学習	30 (3.5%)	59 (8.1%)	32 (4.7%)
インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動	92 (10.8%)	78 (10.7%)	69 (10.1%)
地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）	35 (4.1%)	46 (6.3%)	19 (2.8%)
カウンセラーの配置などの相談体制の充実	53 (6.2%)	60 (8.2%)	28 (4.1%)
その他	18 (2.1%)	17 (2.3%)	19 (2.8%)

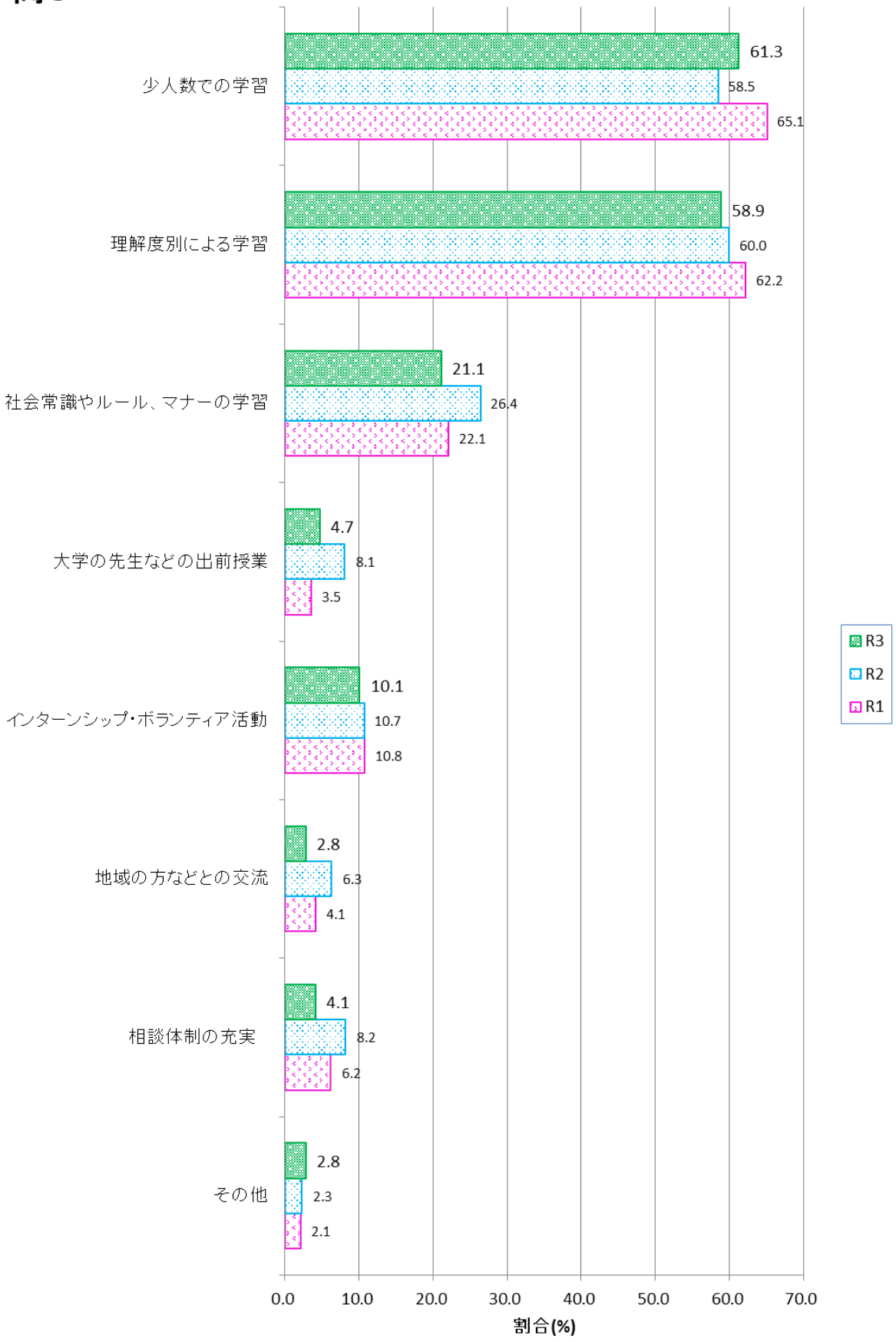
※　重複回答者がいるため、合計は回答者数と一致しない。

○　クリエイティブスクールの取組みに期待することとして、「基礎学力の定着をめざしたきめ細かな指導が受けられる少人数での学習」と「自分のペースで取り組める理解度別による学習」が高い割合となっている。

○　クリエイティブスクールに入学を希望する生徒にとって、丁寧な指導や基礎学力の定着に加えて社会常識を身に付ける学習に関心があることが分かる。

○　「地域の方や大学生、中学生との交流」と、「カウンセラーの配置などの相談体制の充実」は過去２年間の結果から減少した。

問6


少人数での学習
61.3
58.5
65.1
理解度別による学習
58.9
60.0
62.2
社会常識やルール、マナーの学習
21.1
26.4
22.1
大学の先生などの出前授業
4.7
8.1
3.5
インターンシップ・ボランティア活動
10.1
10.7
10.8
地域の方などとの交流
2.8
6.3
4.1
相談体制の充実
4.1
8.2
6.2
その他
2.8
2.3
2.1
R3
R2
R1
0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
割合(%)

問７　あなたが学校生活で力を入れようと考えているのは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

人数(割合)

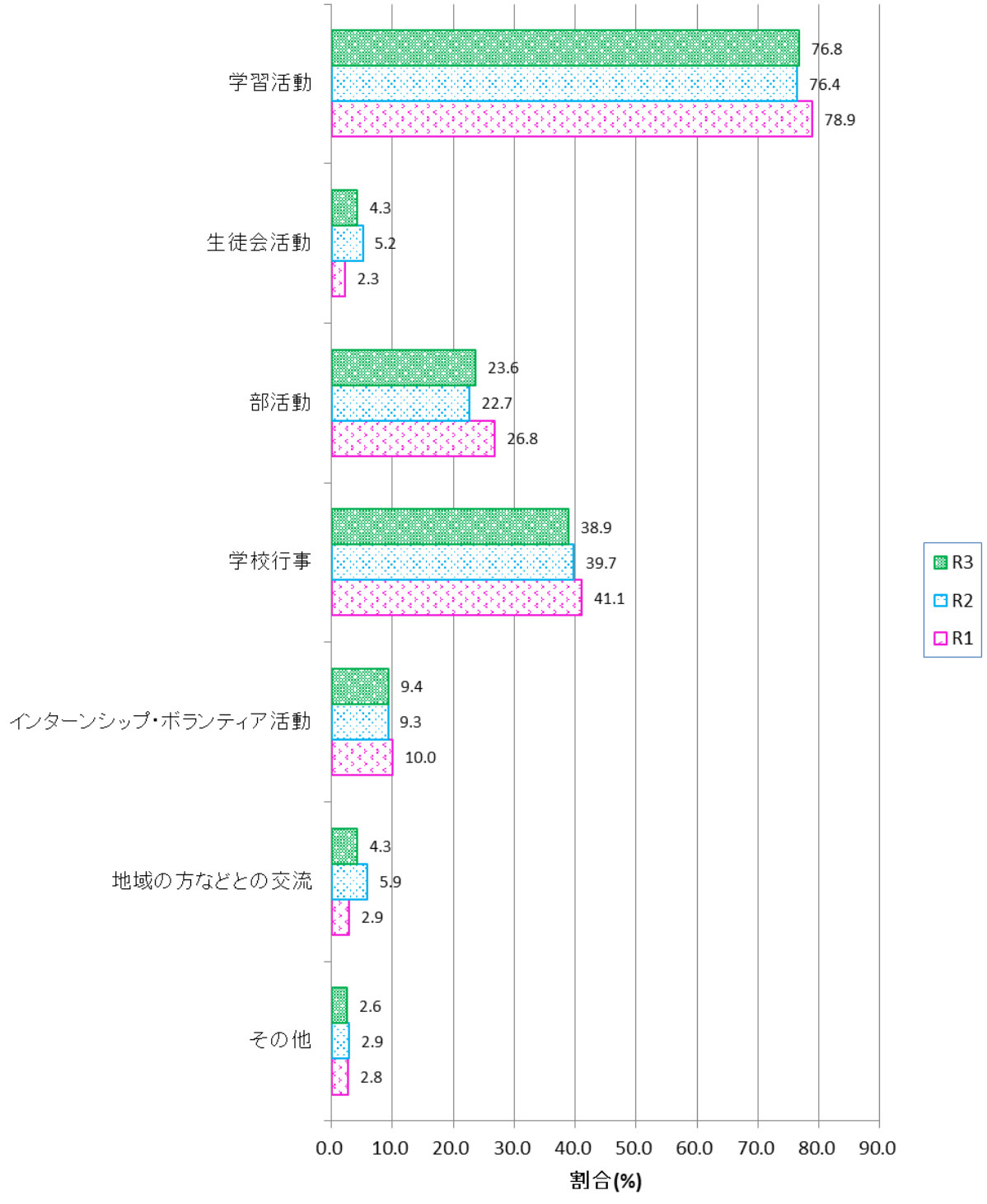
項目＼年度	R1	R2	R2
学習活動	674 (78.9%)	556 (76.4%)	524 (76.8%)
生徒会活動	20 (2.3%)	38 (5.2%)	29 (4.3%)
部活動	229 (26.8%)	165 (22.7%)	161 (23.6%)
体育祭や文化祭などの学校行事	351 (41.1%)	289 (39.7%)	265 (38.9%)
インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動	85 (10.0%)	68 (9.3%)	64 (9.4%)
地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）	25 (2.9%)	43 (5.9%)	29 (4.3%)
その他	24 (2.8%)	21 (2.9%)	18 (2.6%)

※　重複回答者がいるため、合計は回答者数と一致しない。

○　学校生活で力を入れようとしているものは、クリエイティブスクール導入当時より「学習活動」や「体育祭や文化祭などの学校行事」が高い割合である。

○　過去３年間の結果では「地域の方や大学生、中学生との交流」について増加傾向であったが、令和３年度では減少した。

問7


学習活動
76.8
76.4
78.9
生徒会活動
4.3
5.2
2.3
部活動
23.6
22.7
26.8
学校行事
38.9
39.7
41.1
インターンシップ・ボランティア活動
9.4
9.3
10.0
地域の方などとの交流
4.3
5.9
2.9
その他
2.6
2.9
2.8
0.0
10.0
20.0
30.0
40.0
50.0
60.0
70.0
80.0
90.0
割合(%)
R3
R2
R1

令和３年度クリエイティブスクール入学者対象アンケート用紙

神奈川県教育委員会

このアンケートは、クリエイティブスクールに入学した皆さんの入学理由や学校生活に期待することなどを調査し、今後の教育に役立てるために行うものです。該当する項目の ○ を塗りつぶしてください。

問１　あなたの性別をお答えください。

○ 男
○ 女
○ 回答しない

問２　他にどの検査を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

○ この学校しか受検していない
○ 県内の私立高校（全日制課程）
○ 県外の私立高校（全日制課程）
○ その他（　　）

問３　中学校３年生の 10 月の進路希望調査で、第１希望をどのようにしていましたか。あてはまるものを一つ選んでください。

○ この学校
○ 他の公立高校（全日制課程）
○ 他の公立高校（定時制課程）
○ 他の公立高校（通信制課程）
○ 私立高校
○ 専修学校
○ 就職
○ 回答していない、または覚えていない
○ その他（　　）

問４　この学校を選んだ理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

○ 中学校での成績に関係なく、積極的に受け入れ、これまで以上に学習への意欲を高めようとする取組を行うから
○ 少人数での学習など、授業を工夫し、きめ細かな教育を実施するから
○ 調査書の５段階の成績や学力検査等によらず、意欲を基準として選抜するから
○ 学校行事（体育祭・文化祭など）が盛んであるから
○ この学校に入部したい部活動があるから
○ 私立高校への進学を希望していたが、経済的な理由で受検ができなかったから
○ 自宅から近いから
○ 先輩や友達がいるから
○ その他（　　）

問５　この学校を選ぶにあたって、あなたは何を参考にしましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

○ 保護者など家族の話
○ 中学校の先生の話
○ 友人・知人の話
○ 中学校の先輩の話
○ 学校説明会（他の学校との合同説明会を含む）
○ 高校紹介のホームページやパンフレット
○ 学習塾等の情報
○ 学校見学
○ その他（　　）

問６　あなたがクリエイティブスクールの取組に期待することは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

○ 基礎学力の定着を目ざしたきめ細かな指導が受けられる少人数での学習
○ 自分のペースで取り組める理解度別による学習
○ 社会常識やルール、マナーを身に付ける学習
○ 大学の先生や外部の方による出前授業などによる学習
○ インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動
○ 地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）
○ カウンセラーの配置など相談体制の充実
○ その他（　　）

問７　あなたが学校生活で力を入れようと考えているのは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

○ 学習活動
○ 生徒会活動
○ 部活動
○ 体育祭や文化祭などの学校行事
○ インターンシップ（職業体験）やボランティア活動などの体験活動
○ 地域の方や大学生、中学生との交流（合同練習、部活動指導を含む）
○ その他（　　）

学校への要望や意見などがあればご自由に書いてください。（特にない場合は、記入しなくてもかまいません。）

ご協力ありがとうございました。

中 学 校 卒 業 者 の 動 向

資料9

（昭和63年～平成9年）

卒業年月	63年3月 (1988)	元年3月 (1989)	2年3月 (1990)	3年3月 (1991)	4年3月 (1992)	5年3月 (1993)	6年3月 (1994)	7年3月 (1995)	8年3月 (1996)	9年3月 (1997)
公立中学校卒業者	122,167	121,742	114,297	105,273	99,155	95,804	90,601	86,290	80,561	78,588
対前年増減	1,876	△ 425	△ 7,445	△ 9,024	△ 6,118	△ 3,351	△ 5,203	△ 4,311	△ 5,729	△ 1,973

（注）公立中学校卒業者数は、昭和63年3月から令和3年3月までは実績。

（平成10年～平成19年）

卒業年月	10年3月 (1998)	11年3月 (1999)	12年3月 (2000)	13年3月 (2001)	14年3月 (2002)	15年3月 (2003)	16年3月 (2004)	17年3月 (2005)	18年3月 (2006)	19年3月 (2007)
公立中学校卒業者	78,201	77,424	74,865	71,792	69,106	68,850	67,958	64,080	63,680	64,933
対前年増減	△ 387	△ 777	△ 2,559	△ 3,073	△ 2,686	△ 256	△ 892	△ 3,878	△ 400	1,253

（平成20年～平成29年）

卒業年月	20年3月 (2008)	21年3月 (2009)	22年3月 (2010)	23年3月 (2011)	24年3月 (2012)	25年3月 (2013)	26年3月 (2014)	27年3月 (2015)	28年3月 (2016)	29年3月 (2017)
公立中学校卒業者	64,507	65,422	68,711	66,521	67,856	68,969	70,571	69,744	70,397	69,996
対前年増減	△ 426	915	3,289	△ 2,190	1,335	1,113	1,602	△ 827	653	△ 401

（平成30年～平成31年、令和2年～令和9年）

卒業年月	30年3月 (2018)	31年3月 (2019)	2年3月 (2020)	3年3月 (2021)	4年3月 (2022)	5年3月 (2023)	6年3月 (2024)	7年3月 (2025)	8年3月 (2026)	9年3月 (2027)
公立中学校卒業者	69,140	68,742	67,115	65,159	**67,079**	68,105	67,119	66,406	66,694	64,852
対前年増減	△ 856	△ 398	△ 1,627	△ 1,956	**1,920**	1,026	△ 986	△ 713	288	△ 1,842

（注）令和4年3月から12年3月までは、令和3年5月1日現在の公立小・中学校在籍者数に基づく推計値。

（令和10年～令和18年）

卒業年月	10年3月 (2028)	11年3月 (2029)	12年3月 (2030)	13年3月 (2031)	14年3月 (2032)	15年3月 (2033)	16年3月 (2034)	17年3月 (2035)	18年3月 (2036)
公立中学校卒業者	64,784	63,120	63,461	62,922	60,647	58,461	56,410	54,698	51,503
対前年増減	△ 68	△ 1,664	341	△ 539	△ 2,275	△ 2,186	△ 2,051	△ 1,712	△ 3,195

資料９－２

地域別公立中学校卒業予定者数

（令和3 年度学校基本調査に基づく 推計）

卒業年月	3.3	4.3	5.3	6.3	7.3	8.3	9.3	10.3	11.3	12.3
R3.5.1在籍学年	（卒業者実績）	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1
県計	65,159	67,079	68,105	67,119	66,406	66,694	64,852	64,784	63,120	63,461
対前年比	△ 1,956	1,920	1,026	△ 986	△ 713	288	△ 1,842	△ 68	△ 1,664	341
横浜東部・北部	10,337	10,847	11,190	11,004	11,140	11,304	10,954	11,066	10,803	11,076
	△ 501	510	343	△ 186	136	164	△ 350	112	△ 263	273
横浜西部・中部	8,042	8,283	8,369	8,220	8,013	7,999	7,579	7,853	7,437	7,501
	△ 142	241	86	△ 149	△ 207	△ 14	△ 420	274	△ 416	64
横浜南部・臨海	6,748	6,902	6,854	6,893	6,784	6,696	6,492	6,484	6,360	6,241
	△ 166	154	△ 48	39	△ 109	△ 88	△ 204	△ 8	△ 124	△ 119
川崎南部・北部	9,626	9,917	10,208	9,947	10,095	10,273	10,209	10,314	10,061	10,272
	△ 159	291	291	△ 261	148	178	△ 64	105	△ 253	211
横須賀三浦	3,867	3,991	3,974	3,793	3,691	3,814	3,622	3,449	3,369	3,455
	△ 318	124	△ 17	△ 181	△ 102	123	△ 192	△ 173	△ 80	86
鎌倉藤沢・茅ヶ崎	6,877	7,161	7,393	7,262	7,213	7,218	7,112	7,164	6,980	6,927
	△ 287	284	232	△ 131	△ 49	5	△ 106	52	△ 184	△ 53
平塚・秦野伊勢原	4,720	4,781	4,817	4,854	4,554	4,499	4,451	4,291	4,224	4,174
	△ 135	61	36	37	△ 300	△ 55	△ 48	△ 160	△ 67	△ 50
県西	2,518	2,492	2,519	2,461	2,382	2,365	2,405	2,275	2,142	2,159
	△ 101	△ 26	27	△ 58	△ 79	△ 17	40	△ 130	△ 133	17
厚木海老名愛甲・大和座間綾瀬	6,898	7,104	7,072	7,161	6,948	7,107	6,830	6,637	6,630	6,507
	△ 146	206	△ 32	89	△ 213	159	△ 277	△ 193	△ 7	△ 123
相模原	5,526	5,601	5,709	5,524	5,586	5,419	5,198	5,251	5,114	5,149
	△ 1	75	108	△ 185	62	△ 167	△ 221	53	△ 137	35

参考資料

令和４年度神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜の日程

R3

月日	曜	事　　項
1/20	水	
21	木	
22	金	☆県内私学推薦入試解禁日
23	土	
24	日	
25	月	共通選抜　郵送募集期間（全・定・通）　郵送募集期間（別）
26	火	
27	水	
28	木	共通選抜　窓口募集期間（全・定・通）　窓口募集期間（別）　調査書提出（別）
29	金	
30	土	
31	日	
2/1	月	
2	火	
3	水	
4	木	共通選抜　志願変更期間（全・定・通）
5	金	調査書提出（全・定・通）
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	☆県内私学一般入試解禁日
11	木	建国記念の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	共通選抜　共通検査（学力検査等）・特色検査（全・定・通・別）
16	火	共通選抜　共通検査（面接等）・特色検査（全・定・通・別）
17	水	共通選抜　共通検査（面接等）・特色検査（全・定・通・別）
18	木	（面接・特色検査）（全・定・通・別）　＜採点＞
19	金	＜採点＞
20	土	
21	日	
22	月	追検査
23	火	天皇誕生日
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
3/1	月	共通選抜　合格発表（全・定・通・別）
2	火	☆県内私学入学手続き締切日（以降）
3	水	定通分割選抜 募集期間（定(夜間)・通）　二次募集　募集期間　調査書提出（定(夜間)・通）　調査書提出（全・定(夜間以外)）二次募集
4	木	（全・定(夜間以外)）
5	金	定通分割選抜 志願変更期間（定(夜間)・通）　二次募集　志願変更期間
6	土	（全・定(夜間以外)）
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	追加の検査　二次募集　学力検査（英国数）
11	木	（全・定(夜間以外)）
12	金	定通分割選抜　共通検査（学力検査・面接等）（定(夜間)・通）
13	土	
14	日	
15	月	定通分割選抜　共通検査（面接等）・特色検査（定(夜間)・通）
16	火	＜採点＞
17	水	追加の検査　合格発表　二次募集　合格発表
18	木	（全・定(夜間以外)）
19	金	定通分割選抜　合格発表（定(夜間)・通）
20	土	春分の日
21	日	
22	月	二次募集　募集期間（定(夜間)・通）　調査書提出（定(夜間)・通）
23	火	
24	水	二次募集　志願変更（定(夜間)・通）
25	木	二次募集　検査（定(夜間)・通）
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	二次募集　合格発表（定(夜間)・通）
30	火	
31	水	

R4

月日	曜	事　　項
1/20	木	
21	金	
22	土	☆県内私学推薦入試解禁日
23	日	
24	月	
25	火	共通選抜　郵送募集期間（全・定・通）　郵送募集期間（別）
26	水	
27	木	
28	金	共通選抜　窓口募集期間（全・定・通）　窓口募集期間（別）　調査書提出（別）
29	土	
30	日	
31	月	
2/1	火	
2	水	
3	木	
4	金	共通選抜　志願変更期間（全・定・通）
5	土	調査書提出（全・定・通）
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	☆県内私学一般入試解禁日
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	共通選抜　共通検査（学力検査等）・特色検査（全・定・通・別）
16	水	共通選抜　共通検査（面接等）・特色検査（全・定・通・別）
17	木	共通選抜　共通検査（面接等）・特色検査（全・定・通・別）
18	金	（面接・特色検査）（全・定・通・別）　＜採点＞
19	土	
20	日	
21	月	追検査　＜採点＞
22	火	（追検査）
23	水	天皇誕生日
24	木	（追検査）
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
3/1	火	共通選抜　合格発表（全・定・通・別）
2	水	☆県内私学入学手続き締切日（以降）
3	木	定通分割選抜 募集期間（定(夜間)・通）　二次募集　募集期間　調査書提出（定(夜間)・通）　調査書提出（全・定(夜間以外)）二次募集
4	金	（全・定(夜間以外)）
5	土	
6	日	
7	月	定通分割選抜 志願変更期間（定(夜間)・通）　二次募集　志願変更期間
8	火	（全・定(夜間以外)）
9	水	
10	木	追加の検査　二次募集　学力検査（英国数）
11	金	定通分割選抜　共通検査（学力検査・面接等）（定(夜間)・通）　（全・定(夜間以外)）
12	土	
13	日	
14	月	定通分割選抜　共通検査（面接等）・特色検査（定(夜間)・通）
15	火	＜採点＞
16	水	追加の検査　合格発表　二次募集　合格発表
17	木	（全・定(夜間以外)）
18	金	定通分割選抜　合格発表（定(夜間)・通）
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	二次募集　募集期間（定(夜間)・通）　調査書提出（定(夜間)・通）二次募集
23	水	
24	木	二次募集　志願変更（定(夜間)・通）
25	金	二次募集　検査（定(夜間)・通）
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	二次募集　合格発表（定(夜間)・通）
30	水	
31	木	

参考資料

神奈川県内公私立高等学校入学者選抜期日等に関する申し合わせ事項等

年度	公私協開催日	私立入学者選抜期日		公立入学者選抜期日		公私立入学者選抜に関するすべての行為		公立合格者発表期日		私立高校の入学金以外の納入締切日
R４	書面協議会 R3.4.9付けで 文書送付	推薦	１月２２日（土） 以降			推薦	１月２１日（金） 以前には行わない			３月２日（水） 以降
		一般	２月１０日（木） 以降	共通選抜	２月１５日（火） ～１７日（木）	一般	２月９日（水） 以前には行わない	共通選抜	３月１日（火）	

公立高等学校入学者選抜日程は、公私立高等学校設置者会議での合意を経て、各教育委員会が「入学者の募集及び選抜要綱」として決定するものである。

（注）私立の日程については令和３年度入学者選抜期日等に準じて記載しており、予定を含む。変更があった場合には、次回開催以降の公私立高等学校協議会において報告。

年度	公私協開催日	私立入学者選抜期日		公立入学者選抜期日		公私立入学者選抜に関するすべての行為		公立合格者発表期日		私立高校の入学金以外の納入締切日
R３	R2.4.10 （書面協議会）	推薦	１月２２日（金） 以降			推薦	１月２１日（木） 以前には行わない			３月２日（火） 以降
		一般	２月１０日（水） 以降	共通選抜	２月１５日（月） ～１７日（水）	一般	２月　９日（火） 以前には行わない	共通選抜	３月１日（月）	
R２	H31.4.10 （書面協議会）	推薦	１月２２日（水） 以降			推薦	１月２１日（火） 以前には行わない			２月２９日（土） 以降
		一般	２月１０日（月） 以降	共通選抜	２月１４日（金） ～１８日（火） ※土・日に検査等は実施しない。	一般	２月　９日（日） 以前には行わない	共通選抜	２月２８日（金）	
H31	H30.4.11 （書面協議会）	推薦	１月２２日（火） 以降			推薦	１月２１日（月） 以前には行わない			２月２８日（木） 以降
		一般	２月１０日（日） 以降	共通選抜	２月１４日（木） ～１８日（月） ※土・日に検査等は実施しない。	一般	２月　９日（土） 以前には行わない	共通選抜	２月２７日（水）	
H30	H29.4.12 （書面協議会）	推薦	１月２２日（月） 以降			推薦	１月２１日（日） 以前には行わない			２月２８日（水） 以降
		一般	２月１０日（土） 以降	共通選抜	２月１４日（水） ～１６日（金）	一般	２月　９日（金） 以前には行わない	共通選抜	２月２７日（火）	
H29	H28.6.15 （書面協議会）	推薦	１月２２日（日） 以降			推薦	１月２１日（土） 以前には行わない			３月１日（水） 以降
		一般	２月１０日（金） 以降	共通選抜	２月１５日（水） ～１７日（金）	一般	２月　９日（木） 以前には行わない	共通選抜	２月２８日（火）	
H28	H27.4.15 （書面協議会）	推薦	１月２２日（金） 以降			推薦	１月２１日（木） 以前には行わない			３月１日（火） 以降
		一般	２月１０日（水） 以降	共通選抜	２月１６日（火） ～１８日（木）	一般	２月　９日（火） 以前には行わない	共通選抜	２月２９日（月）	
H27	H26.4.16 （書面協議会）	推薦	１月２２日（木） 以降			推薦	１月２１日（水） 以前には行わない			２月２８日（土） 以降
		一般	２月１０日（火） 以降	共通選抜	２月１６日（月） ～１８日（水）	一般	２月　９日（月） 以前には行わない	共通選抜	２月２７日（金）	
H26	H25.4.17 （書面協議会）	推薦	１月２２日（水） 以降			推薦	１月２１日（火） 以前には行わない			２月２８日（金） 以降
		一般	２月１０日（月） 以降	共通選抜	２月１４日（金） ～１８日（火） ※土･日に検査等は実施しない。	一般	２月　９日（日） 以前には行わない	共通選抜	２月２７日（木）	
H25	H24.4.19 （書面協議会）	推薦	１月２２日（火） 以降			推薦	１月２１日（月） 以前には行わない			３月　１日（金） 以降
		一般	２月１０日（日） 以降	共通選抜	２月１５日（金） ～１９日（火） ※土･日に検査等は実施しない。	一般	２月　９日（土） 以前には行わない	共通選抜	２月２８日（木）	

（参考）東京都	
R３	公立推薦　1/26 〃　発表　2/2 私立推薦　1/22後 公立検査　2/21 〃　発表　3/2 私立検査　2/10後
R２	公立推薦　1/26 〃　発表　1/31 私立推薦　1/22後 公立検査　2/21 〃　発表　3/2 私立検査　2/10後
H31	公立推薦　1/26 〃　発表　2/1 私立推薦　1/22後 公立検査　2/22 〃　発表　3/1 私立検査　2/10後
H30	公立推薦　1/26 〃　発表　2/1 私立推薦　1/22後 公立検査　2/23 〃　発表　3/1 私立検査　2/10後
H29	公立推薦　1/26 〃　発表　2/2 私立推薦　1/22後 公立検査　2/24 〃　発表　3/2 私立検査　2/10後
H28	公立推薦　1/26 〃　発表　2/2 私立推薦　1/22後 公立検査　2/24 〃　発表　3/2 私立検査　2/10後
H27	公立推薦　1/26 〃　発表　2/2 私立推薦　1/22後 公立検査　2/24 〃　発表　3/2 私立検査　2/10後
H26	公立推薦　1/26 〃　発表　1/31 私立推薦　1/22後 公立検査　2/24 〃　発表　2/28 私立検査　2/10後
H25	公立推薦　1/27 〃　発表　2/1 私立推薦　1/22後 公立検査　2/23 〃　発表　2/28 私立検査　2/10後